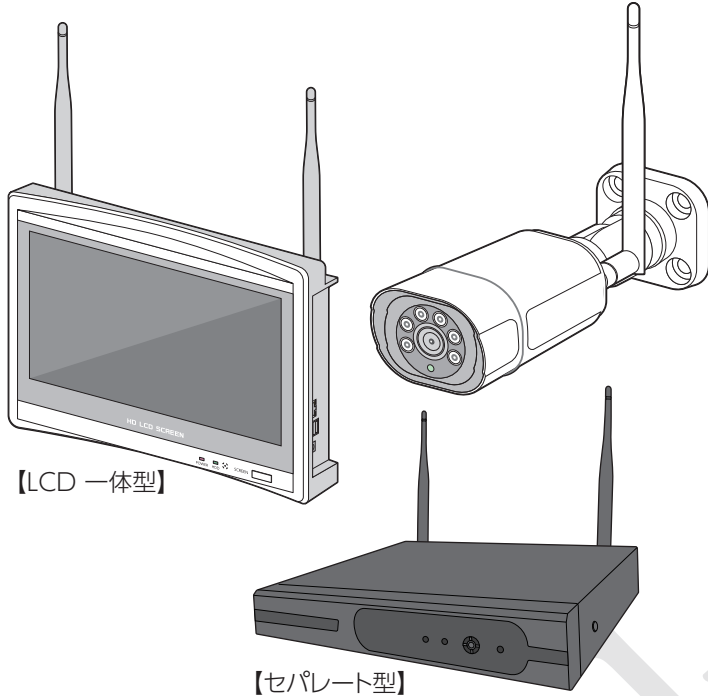


WIFI 防犯カメラセット

取扱説明書



SEC-Wシリーズ

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みください。お読みいただいた後も、本取扱説明書は大切に保管してください。

本製品の特徴

- カメラは3M/5M解像度を使用可能。カメラ数は最大8CHまで接続可能。
- リピーター機能により、離れた場所に設置したカメラへもワイヤレス信号を伝達可能。
- スマホで遠隔監視可能。
- カメラでスマホと双方向通話が可能。(オプション機能)


ご注意: 製造LOT、Ver. によりメニュー表記(仕様)が異なる場合があります。


目次

1. 安全上のご注意	2	7. 使用方法(基本)	13
2. 同梱品の確認	3	7-1. 録画機のインターネット接続	13
3. 各部の名称と機能	4	7-2. 日付/時刻の設定、言語の設定	14
4. 設置工事をする前に	5	7-3. カメラの画像を見る	15
4-1. 動作確認	5	7-4. 録画された画像を見る	15
4-2. 設置場所の確認	6	7-5. 録画データをバックアップする	17
● 設置シーンの例	6	7-6. 録画モード(録画スケジュール)の設定	18
● カメラ設置位置の参考	7	7-7. スマートフォンアプリの使い方	20
● 電波が届かない場合は	8	8. その他の設定	23
5. カメラの設置	9	8-1. カメラの追加	23
5-1. 壁面・天井への設置	9	8-2. カメラリピーター設定	24
5-2. ポール等への設置(オプション)	10	8-3. HDDの取付・フォーマット	25
5-3. その他の場所への設置(オプション)	11	8-4. シャットダウン・再起動	27
5-3. 電源の接続(屋外に設置する場合・防水処理)	11	8-5. システム設定項目一覧	27
6. 録画機の設置	12	9. トラブルシューティング	28
6-1. 壁掛け設置	12	10. 製品仕様	29
6-2. スタンドを立てて設置	12	製品保証書	29
6-3. 外部モニターを接続する場合	12	アクセサリのご案内	31
6-4. 電源とマウスの接続	12		

1 安全上のご注意

この章では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

■絵表示の意味




してはいけない禁止の指示です。





実行しなければならない強制的指示です。


警告


【電源に関するご注意】

 **本製品は規定の電源で使用する。**
カメラ・録画機は、それぞれ本製品に付属する専用のACアダプタを使用し、家庭用AC100V電源に接続してください。規定外の電源を使用すると感電・故障の原因となります。


 **雷鳴が聞こえるなど、落雷の可能性のある時はカメラや録画機から離れる。**
感電の原因となります。


 **カメラ設置時、適切な防水処理を行う。**
カメラ本体は防水仕様ですが、コネクタ部から水が入ると故障や感電の原因となります。


 **録画機を濡らさない。水場や水場の近くで使用しない。濡れた手で触れない。**
感電の原因となります。


 **本製品や各コードを分解・改造しない。本製品内に異物を入れない。**
火災・感電・故障の原因となります。故障の際はご自分で修理なさらず、販売店にお問い合わせください。

【カメラ設置に関するご注意】


 **カメラは適切な方法で取り付ける。**
取付け場所の素材や強度を確認し、適切な取付具（ビスやアンカー、プラグ）を用いて確実に取付けてください。カメラが落下すると、周囲の人が死亡または重傷を負う危険があります。また、故障の原因となります。


 **自宅や私有地、専有部以外へ設置する場合には事前に必要な許可を得る。**
マンション共用部などへ設置する場合は、事前に必要な許可を得てください。


 **極端に高温になる場所／低温になる場所で使用しない。**
故障の原因となります。また、設置器具などの変形で、カメラが落下する危険があります。

 **引火性のあるものの近くに設置しない。**
火災の原因となります。揮発性のガスが発生する場所、引火性の物質のある場所などへは設置しないでください。

【その他使用上のご注意】


 **録画機は落下の危険のない場所へ設置する。**
水平で安定した場所、落下の危険のない場所へ設置してください。壁掛けする場合は、取付け場所の素材や強度を確認し、適切な取付具（ビスやアンカー、プラグ）を用いて確実に取付けてください。落下すると、周囲の人が死亡または重傷を負う危険があります。また、故障の原因となります。


 **カメラや録画機、各コードに異常が見つかった場合は使用を中止する。**
感電や爆発・火災等の原因となります。カメラや録画機が変形していたり、コードの被膜に破損がある場合、また、異常な発熱や発煙などがある場合にはただちに使用を中止してください。


 **本製品や付属品を小さな子どもに触れさせない。**
小さな部品や鋭利な部分のある部品があり、思わぬケガや事故の原因となります。


 **カメラや録画機、アダプターを火中に投げ入れない。**
火災・感電・故障・爆発の原因となります。


注意


 **日本国内でのみ使用する。**
本製品は日本国内用に設計されています。外国で使用した場合、法律・条例に違反する可能性があります。また、日本国外で使用した場合、保証の対象外となります。

 **カメラを直射日光や強い光源に向けない。**
カメラの故障の原因となります。日中の日差しの動きなどを考慮し、カメラを設置してください。

 **カメラのレンズやセンサー部に手で触れない。**
故障の原因となります。レンズの汚れは柔らかい布でやさしく拭きとってください。

 **プライバシーを侵害する可能性のある場所へ向けず設置しない。**
本製品は自宅や私有地、専有部などの防犯目的に設置するものです。他者の権利を侵害する用途での使用はしないでください。

 **撮影された画像を理由なく第三者に公開しない。**
プライバシー侵害の恐れがあります。本製品は防犯目的のみに使用し、他の用途で使用しないでください。

 **強い電磁波や磁力の発生場所に設置しない。**
電波障害や故障の原因となります。

2 同梱物の確認

パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。

※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。

録画機関連	●LCD一体型録画機	●録画機用ACアダプター	●USBマウス	●ハードディスク用ビス
	●セパレート型録画機	※12V/2A		※HDD内蔵の構成には取付済
型番	SEC-WRECL5-xx/SEC-WREC5-xx	AC-DC12-2A		
数量	1台	1個	1個	4本*

カメラ関連	●WIFIカメラ	●カメラ用ACアダプター	●カメラ取付用アンカープラグセット	●LANケーブル (長さ:約1m)
	本体 アンテナ LANコネクタカバー	※12V/1A	※ビス4個+アンカープラグ4個	
型番	SEC-WCAM5-XX	AC-DC12-1A		
数量		セット構成による(カメラ台数分)		1本

※カメラ用、録画機用でACアダプタが異なります。ご注意ください。

※製品外観、コネクタ配置等は、予告なく変更される場合があります。

【免責事項】

以下の場合、弊社では責任を負うことができません。ご了承ください。

- カメラや録画機の故障等により、動画が記録できなかった場合や記録が消失してしまった場合
- 記録された映像に関するトラブル(被撮影者の肖像権、著作権、プライバシー権についてのトラブルを含みます)
- カメラや録画機を設置したことによる、建造物の外壁等の損傷
- 設置工事に関するトラブル

【無線LANについて】

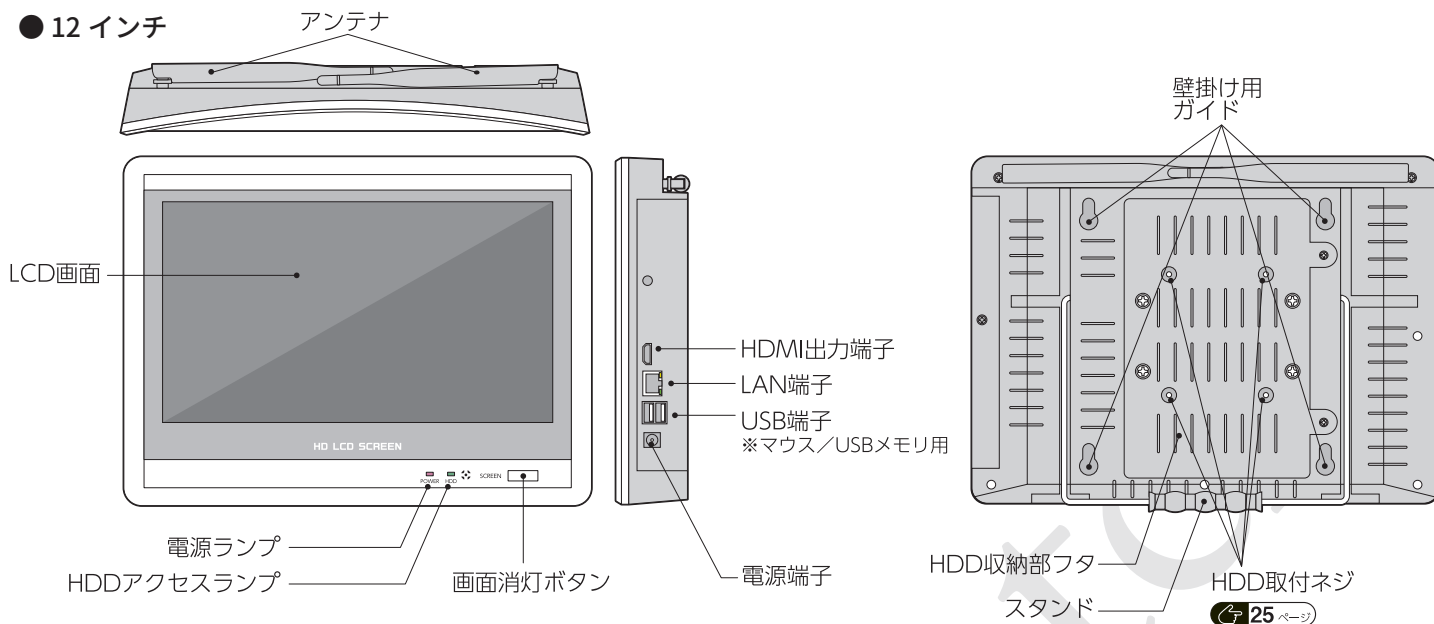
本製品の無線機能の使用周波数では、産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本商品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、サポートまでご連絡ください。

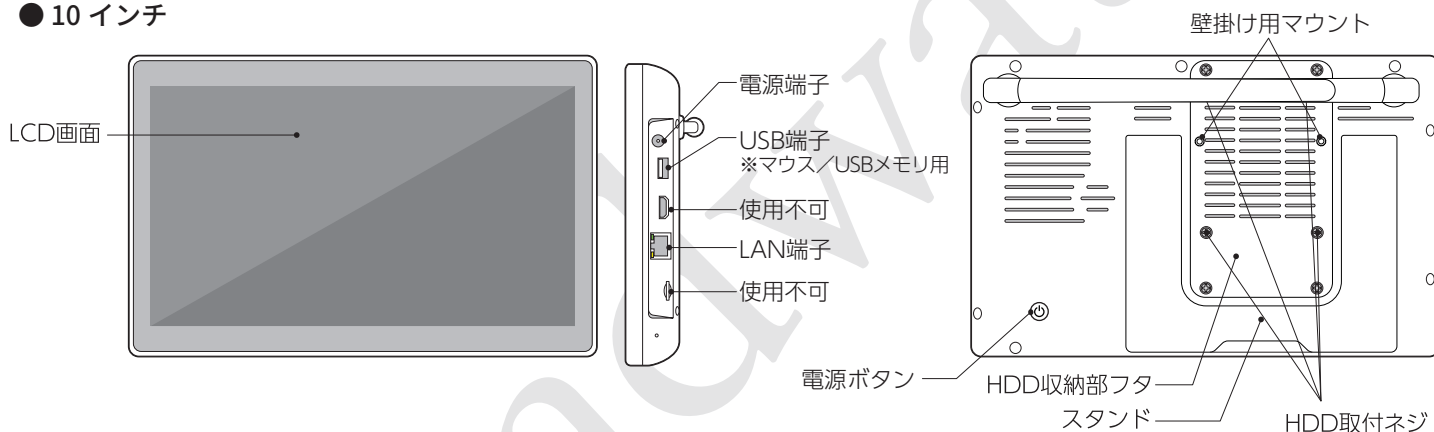
3 各部の名称と機能

LCD一体型録画機

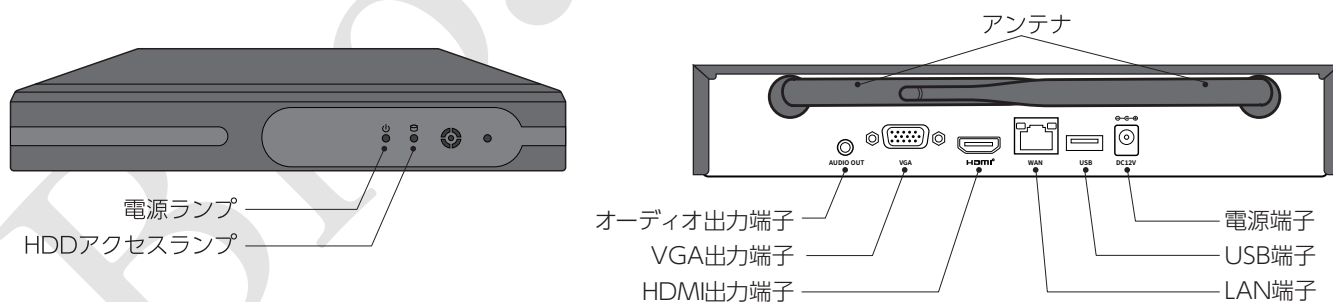
● 12 インチ



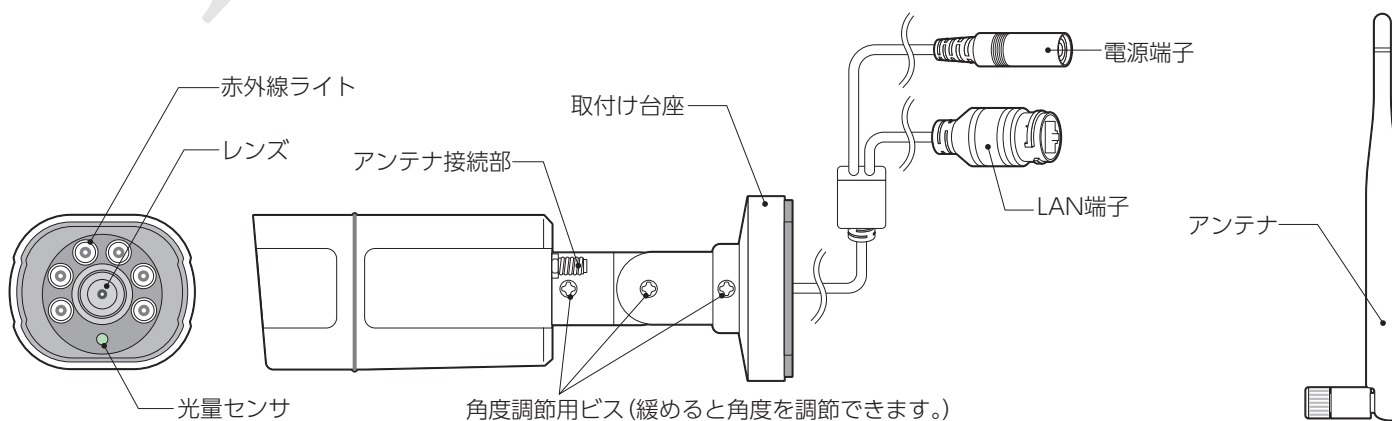
● 10 インチ



● セパレート録画機



● カメラ



4 設置工事をする前に

4-1.動作確認

設置工事をする前に、必ずカメラと録画機の動作確認を行ってください。

※設置工事をした後に初期不良・故障が発見された場合でも、取外し費用、再設置の費用については弊社では保証できません。

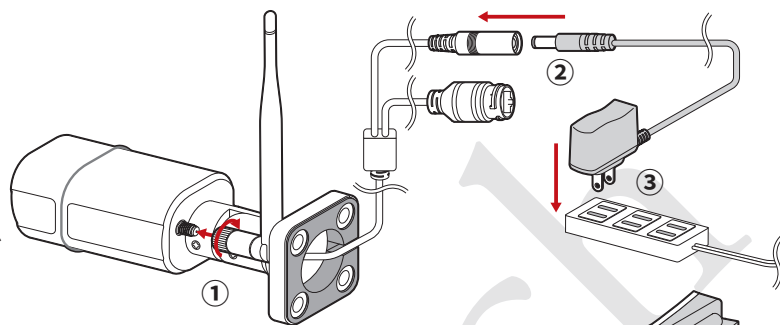
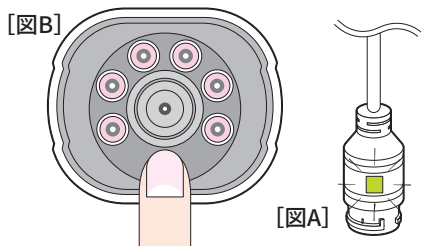
●動作確認の手順

カメラの準備

- ①カメラにアンテナを接続します。
- ②ACアダプタをカメラの電源端子に接続します。
- ③ACアダプタをコンセントに接続します。

カメラは電源に接続されると、LAN端子側面のランプが緑色に点灯します。[図A]

また、レンズ下の光量センサを指で隠すと、赤外線ライトが薄く赤色に発光します。[図B]



※有線LANでインターネットに接続する場合は、P13を参照してルーターと接続してください。

録画機の準備

- ①USBマウスをUSB端子に接続します。
※バックアップのためUSBメモリを使用します。スペースの関係で、マウスは画面側のUSB端子に接続してください。
- ②録画機の電源端子にACアダプタを接続します。
- ③ACアダプタをコンセントに接続します。

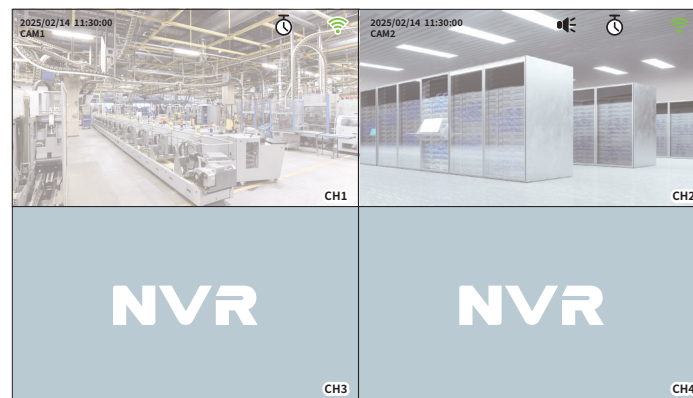
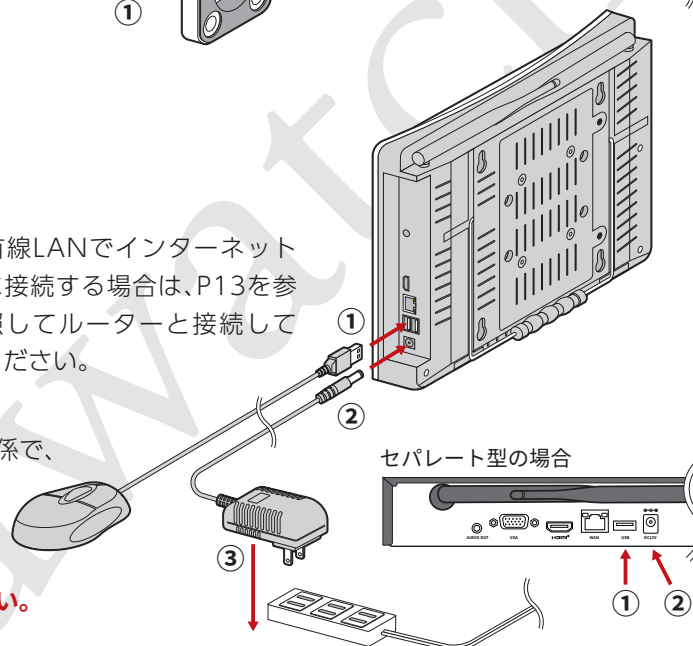
※カメラ用、録画機用でACアダプタが異なります。ご注意ください。

動作確認

ACアダプタがコンセントに接続されると、録画機の電源がONになります。しばらくするとカメラが認識され、カメラ画像が4分割で表示されます。

- カメラ画像の確認 (📄 15 ページ)
- インターネット接続 (必要な場合) (📄 13 ページ)
- 録画の確認 (📄 15 ページ)

を行ってください。



●シャットダウン

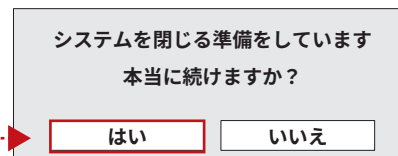
動作確認が終わったら、録画機をシャットダウンします。

- ①画面上で右クリックし、表示されるメニューから「ログダウン」にカーソルを合わせます。
- ②「電源OFF」をクリックします。
- ③確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

画面に「電源を安全に切断できるようになりました」と表示が出たら、すみやかに録画機のACアダプタを外してください。



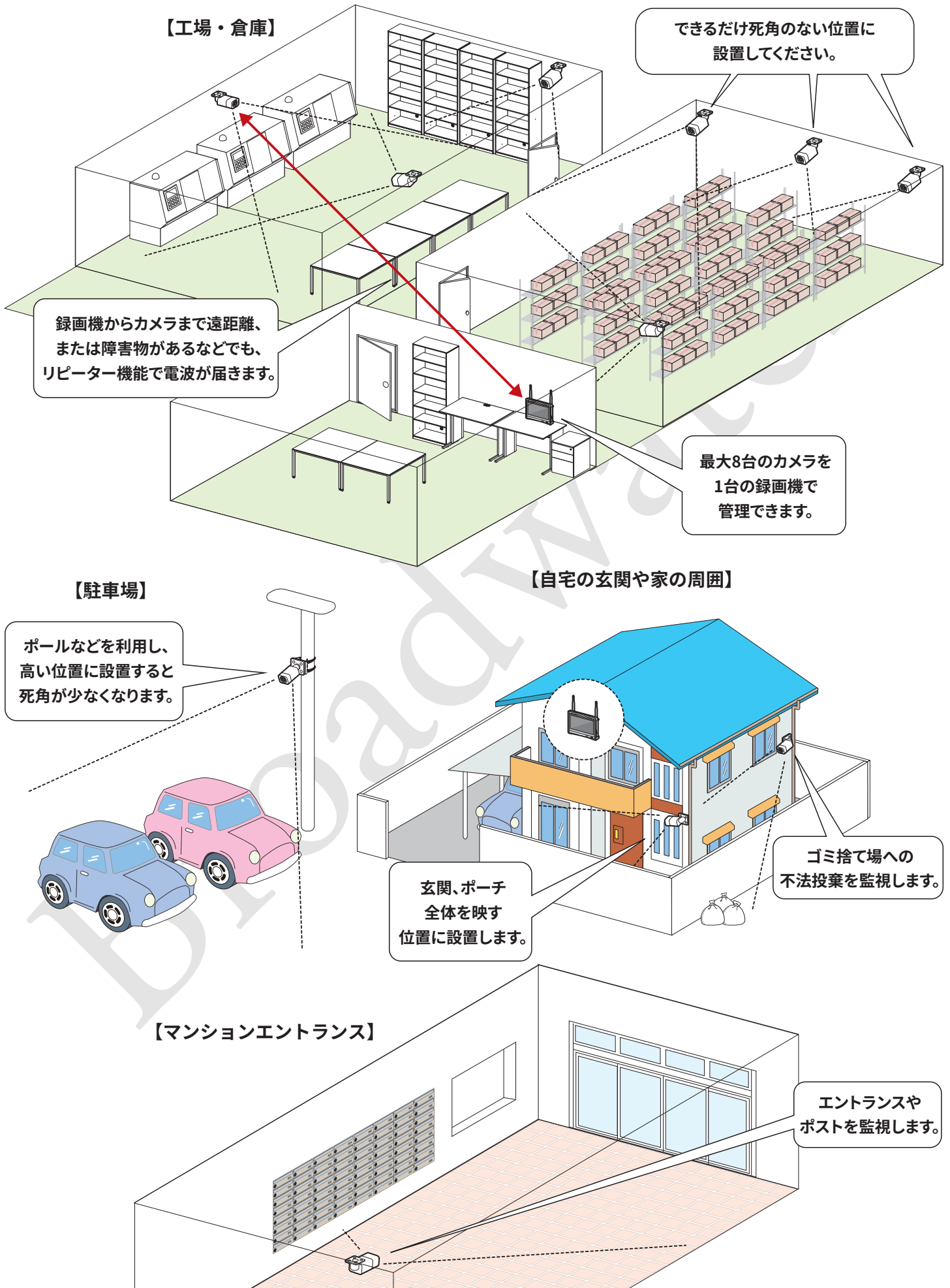
❗ 録画機の電源をOFFにする前に、必ずシャットダウン操作を行ってください。



※「電源を安全に切断できるようになりました」の表示後、一定時間(1分程度)経過すると再起動が始まります。再起動が始まってしまった場合は絶対に録画機のACアダプタは外さないでください。

4-2. 設置場所の確認

●設置シーンの例



【導入事例】



左上:カーポートに設置
左:ポールへ設置
上:玄関ポーチ 壁面に設置
右:庭に設置

●カメラ設置位置の参考

防犯カメラ設置の3つのポイント

死角を作らない

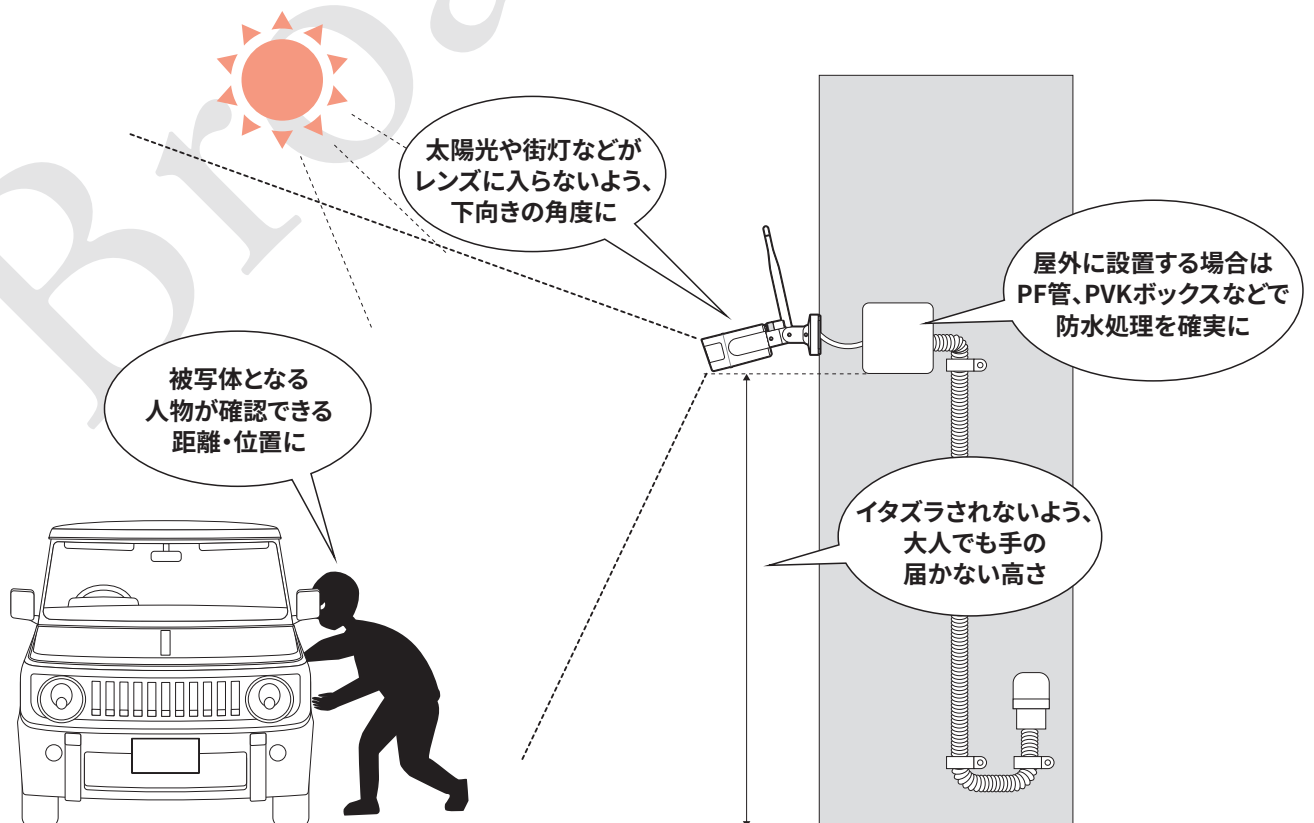
死角があると、せっかくのカメラの効果が半減します。不審者の侵入経路を考え、カメラを設置してください。

防犯カメラ設置をアピールする

目立つ位置に設置したり、シールを貼ってカメラがあることを周知すると、犯罪の抑止につながります。

プライバシーに配慮する

自宅や所有地以外は映さないよう注意してください。自宅や所有地であっても、他者への配慮は必要です。



●電波が届かない場合は

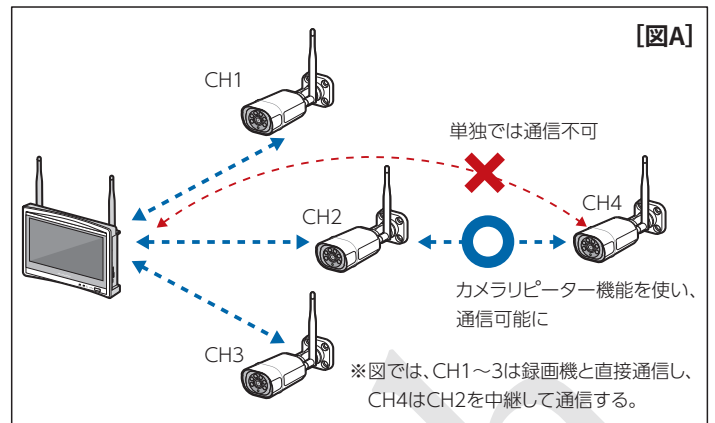
録画機とカメラの距離が離れていたり、間に障害物があるなど、周囲の状況によっては短い距離でも通信が不安定になることがあります。その場合はカメラリピーター機能の使用や、有線LAN接続をご検討ください。

【カメラリピーター機能】

複数台のカメラを使用している場合、1台のカメラを中継機として、遠隔地にあるカメラとの通信を可能にすることができます。(【図A】参照)
出荷時、「オートリピーター」設定になっています。カメラと録画機の距離により、自動でリピーター関係が構築されます。

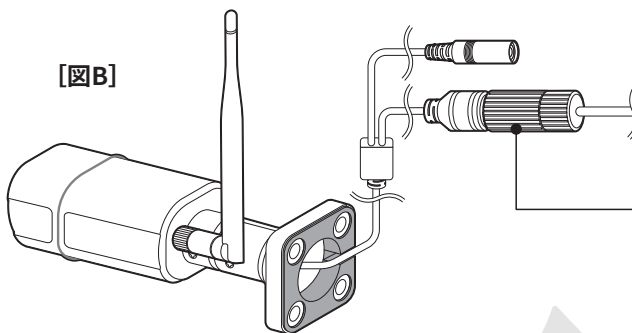
【有線LAN接続】

録画機とカメラをLANケーブルで接続することもできます。LANケーブルをカメラに接続する場合は、付属のコネクタカバーで保護してください。(【図B】参照)

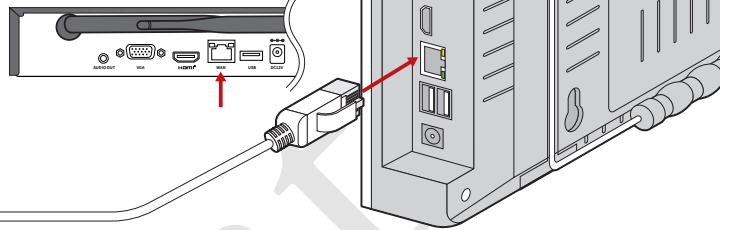


📄 24 ページ

【図B】



セパレート型の場合

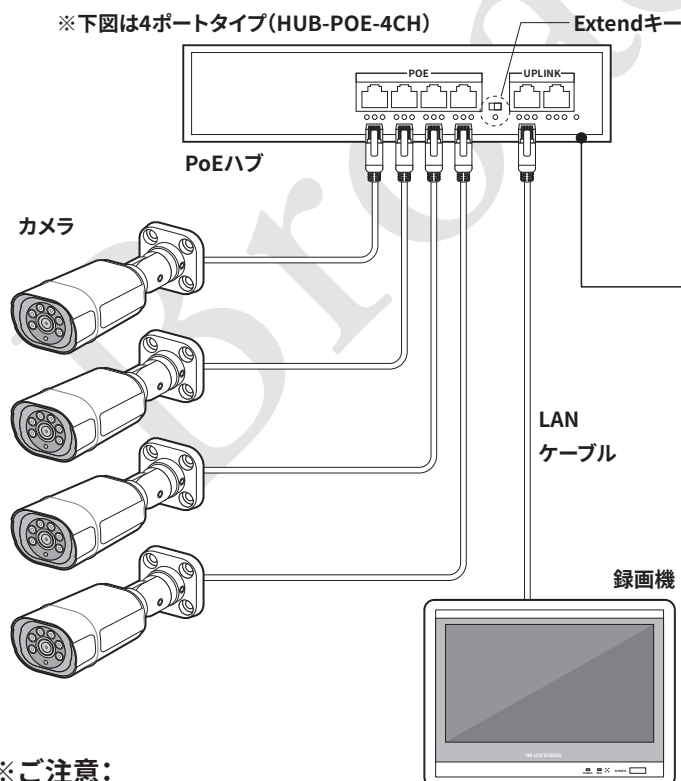


●オプションのPoEハブ(HUB-POE-xCH)を使用すれば、カメラ台数分の有線LAN接続が可能です。

📄 32 ページ

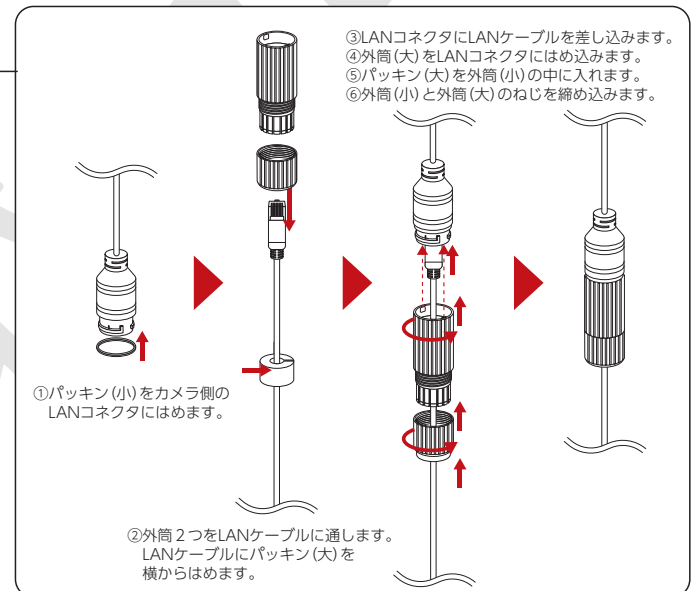
型番	アップリンク	POEポート	供給電力
HUB-POE-4CH	2	4	72W
HUB-POE-8CH	2	8	120W

※下図は4ポートタイプ(HUB-POE-4CH)



※ご注意:

全てのカメラが使用できるものではありません。
有線接続を希望される場合、弊社のNVR型カメラセットをご購入ください。



電源を接続し、左図のようにカメラ、録画機とPoEハブをLANケーブル(カテゴリ5以上)で接続します。

カメラとの距離により、Extendキーを設定してください。

Extendキー ON: 250mまで(LAN速度 10Mbps)

OFF: 100mまで(LAN速度100Mbps)

※LANケーブルでカメラへ電源供給するため、電源の配線が不要です。

※有線LAN接続のカメラと、無線接続のカメラは併用できません。すべてのチャンネルを同じ接続方法にする必要があります。

【拡張Wi-Fiアンテナ】

オプションの拡張Wi-Fiアンテナは延長ケーブルが付属し、アンテナ部を障害物を回避した位置に設置することができます。付属のアンテナに変えて使用してください。



📄 32 ページ

5 カメラの設置

5-1. 壁面・天井への設置

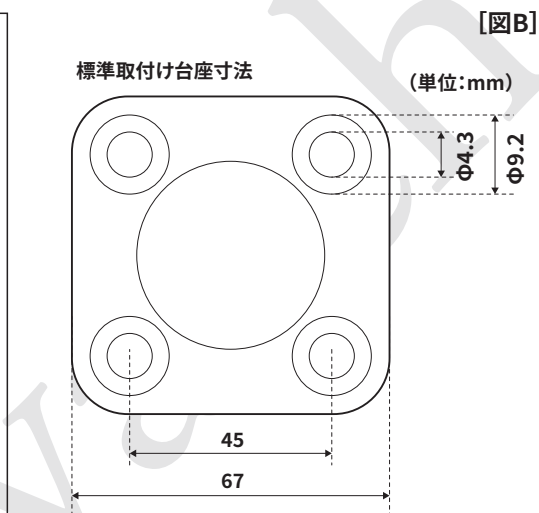
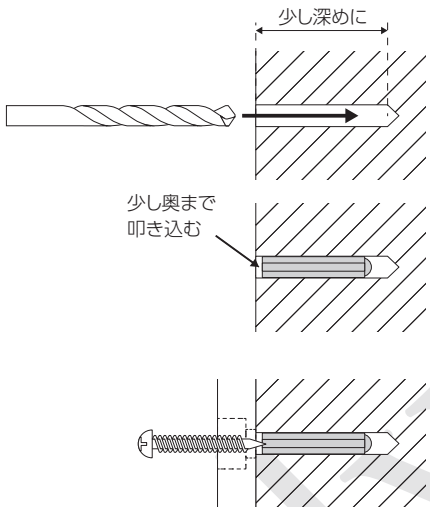
平らな壁面や天井面へ設置するには、標準で付属する取付け台座を、ビスやプラグ・アンカーを使用して取付けます。壁面の素材により、使用するビスやプラグ・アンカーが異なります。

- コンクリート → コンクリートプラグ
- 石膏ボード → 石膏ボードアンカー
- 木材(ボード下地) → 木ネジ
- 金属板 → 磁石が付く場合はネジ式マグネットフック(オプション) / ビス・ナット(別途ご用意ください)

※プラグやアンカーは下穴をあけるため、ドリルなどの工具が必要です。

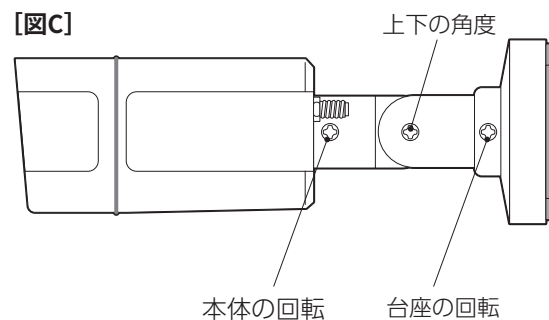
アンカープラグの使い方 [図A]

- ①ネジをうつ位置を決め、印をつけます。
- ②ドリルで下穴をあけます。プラグの長さより少し深めにあけてください。
- ③プラグを下穴に入れます。表面より少し奥まで叩き込んでください。
- ④プラグにビスを入れて、固定します。



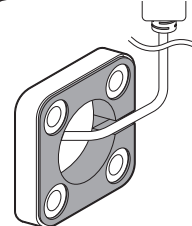
①カメラ角度の調節

ビス止めする前に、カメラの角度を調節します。微調整は取付け後にできますので、おおまかな角度を決めてください。3箇所の角度調節ビスをゆるめ、角度を調節し、再度ビスを締めて固定します。[図C]



②ビス止め

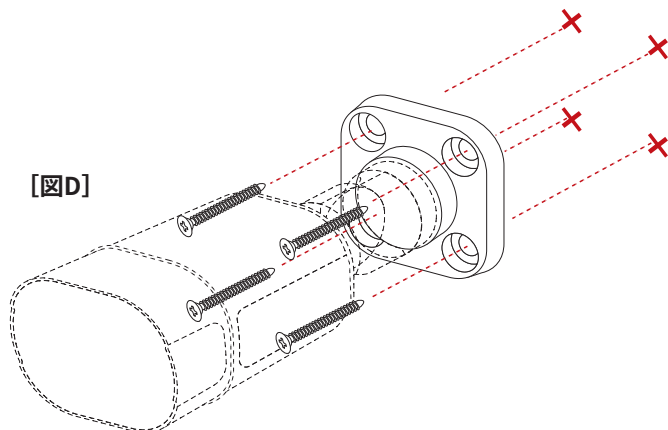
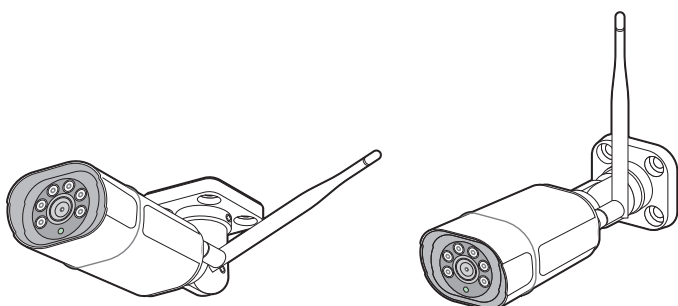
[図B]を参考に、取付け面に印をつけます。アンカープラグが必要な場合は[図A]を参考に下穴をあけてください。台座の4箇所をビス止めします。[図D]



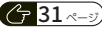
ケーブルは台座底面の切れ目に合わせ、外へ出してください。切れ目以外の部分にケーブルが乗ったまま取付けると断線の原因になります。

③アンテナ取付け・角度の微調整

アンテナを取付けるとカメラ本体の角度調節ビスが隠れてしまうので、アンテナ取付け前に角度の微調整を行ってください。



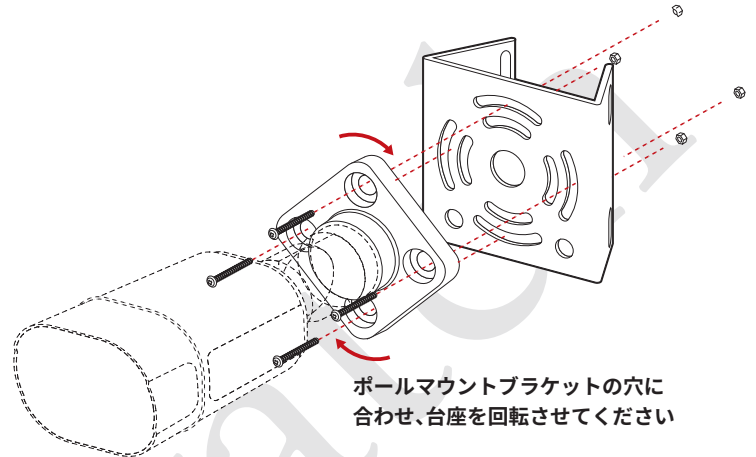
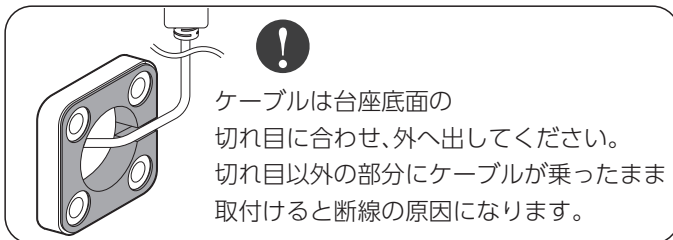
5-2.ポール等への設置(オプション)

オプションのポールマウントブラケットを使用すると、雨樋や支柱などポール状のものへカメラを取付けることができます。穴あけなどの工事を行うことがないため、賃貸物件やDIYが得意な方へおすすめの方法です。 



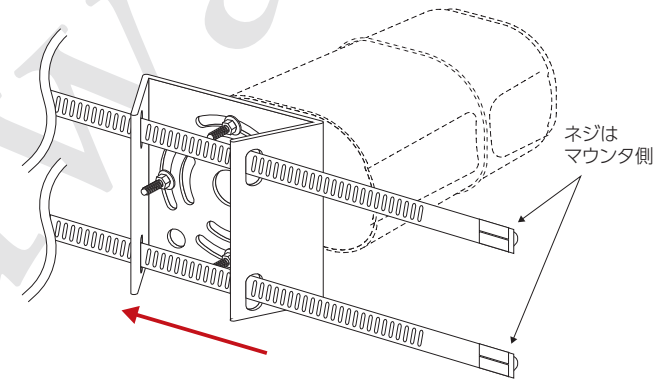
①カメラ角度の調節・台座の取付け

前ページ手順①[図C]を参考に、カメラの角度を調節します。その後、ポールマウントブラケットに台座をビス止めします。360°スタンドを使用する場合は、台座の代わりに360°スタンドをポールマウントブラケットを取付けます。



②カメラ角度の調節・台座の取付け

ブラケットの横穴に、バンドを2本通します。このとき、バンドのネジはマウンタ側に向くようにしてください。



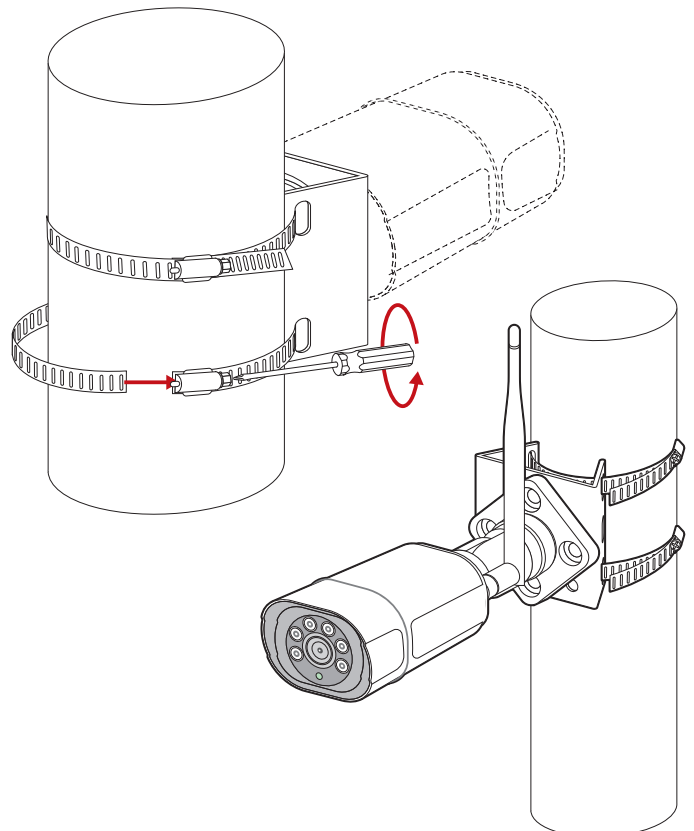
③バンドを締める

バンドをポールに巻き付け、バンドの先端をネジ部に通します。このとき、ドライバーでネジを時計回りに回しながら押し込むとスムーズに入ります。

バンドが固定されるまでネジを締めていきます。

※電動ドライバーを使用する場合はトルク設定に注意してください。

360°スタンドを使用する場合は、最後にカメラ本体を360°スタンドに取付けます。



5-3. その他の場所への設置(オプション)

オプション品を使用し、いろいろな場所へカメラを設置することができます。📄 31 ページ



5-4. 電源の接続

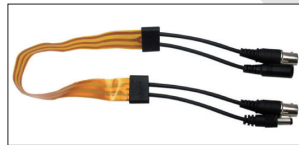
カメラの取付けが終わったら、電源を接続します。

①カメラの電源端子に、ACアダプタを接続します。

屋外に設置する場合は自己融着テープを巻き、防水処理を行ってください[図A]。

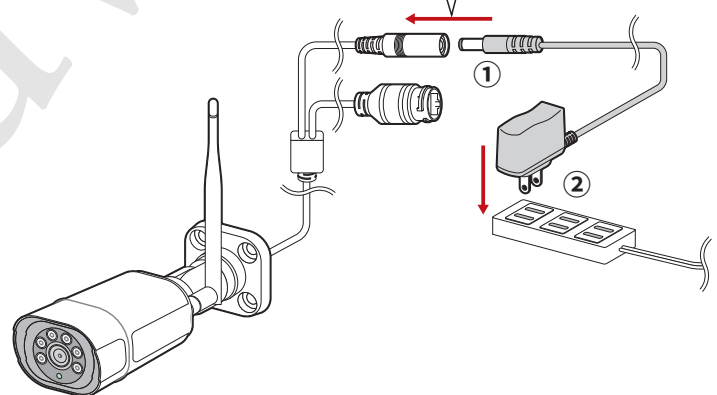
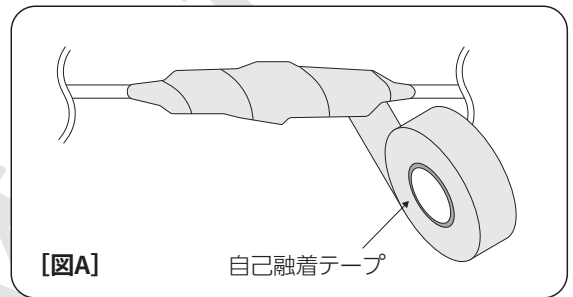
また設置場所に応じてPF管、PVKボックスなどを使用して防水や耐候の処理を行ってください。[図B]

※屋内から屋外へ電源を引き出す場合は、隙間ケーブル(オプション)を使用してください。



有線LANを使用する場合→📄 8 ページ

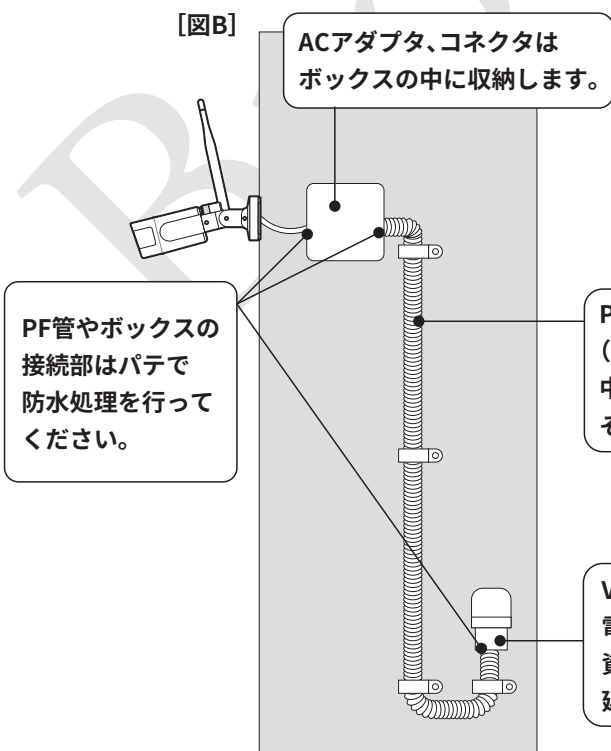
※使用しない場合でも防水のため、コネクタカバーを装着してください。



②ACアダプタをコンセントに接続します。

家庭用AC100Vの電源に接続してください。

カメラの動作確認→📄 5 ページ



PF管やボックスの接続部はパテで防水処理を行ってください。

ACアダプタ、コネクタはボックスの中に収納します。

PF管の内部でコネクタやケーブルを接続(中継)しないでください。中継の必要がある場合はボックスを設置、その中で接続します。

VVFケーブルを使用して電源を取得する場合は電気工事士の資格が必要です。資格がない場合は、コンセントプラグ付きの延長コードを使用してください。

6 録画機の設置

LCD 一体型録画機は壁掛けまたはスタンドを立てて設置ができます。

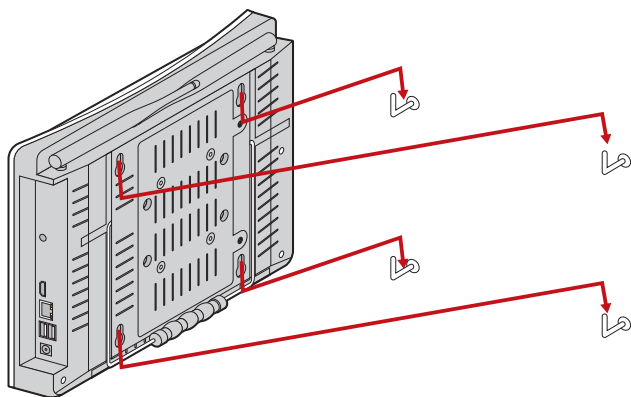
※壁掛けで設置する場合、壁にフックなどをつける前に、カメラからの電波受信が良好であることを確認してください。

6-1.壁掛け設置

録画機背面の壁掛け用ガイドにフックなどをかけ、設置します。

※ボードアンカーを使用する場合は、ボードアンカーの耐荷重、ボード自体の耐荷重を確認してください。

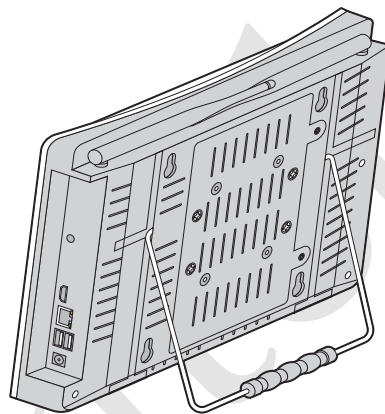
※録画機の操作はマウスが必要ですので、操作性を考慮して設置位置を検討してください。



6-2.スタンドを立てて設置

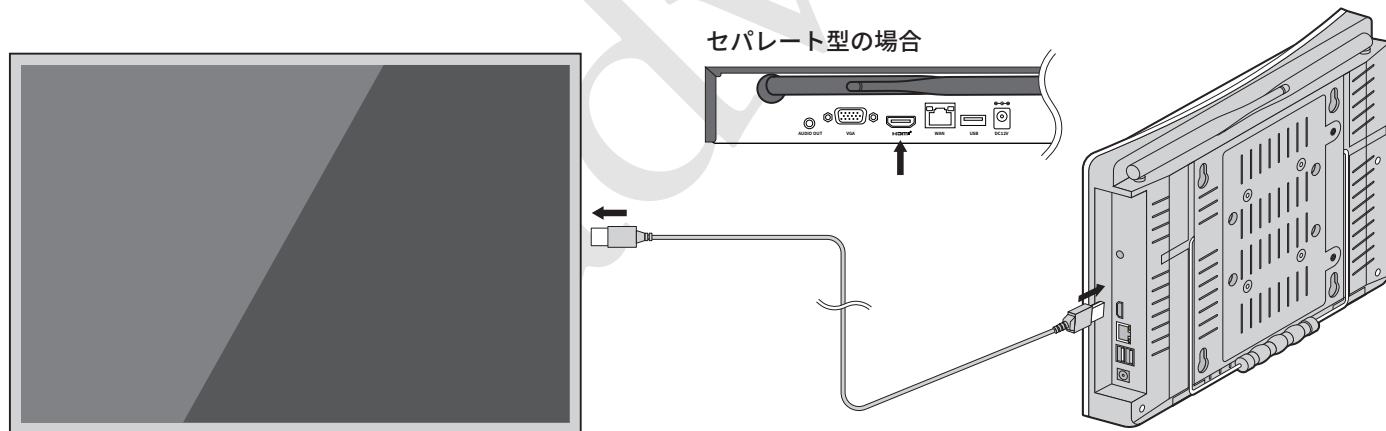
録画機背面のスタンドを立てることで、簡単に設置することができます。

平らで安定した場所に設置してください。



6-3.外部モニターを接続する場合

外部モニターとHDMIケーブル(別売り)で接続することができます。(外部モニターはHDMI端子のあるものをご用意ください。)



※録画機・外部モニター両方に同じ内容が表示されます。録画機側の表示を消すには、録画機画面右下の「SCREEN」ボタンを押してください。(もう一度押すと再表示されます。)

※VESAマウント対応の外部モニターの場合、オプションの「VESA壁掛けモニタースタンド」を使用して壁掛け設置することができます。

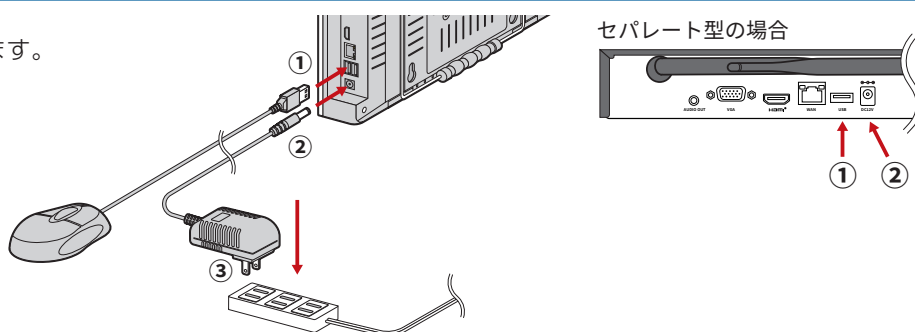


VESA壁掛け
モニタースタンド

6-4.電源とマウスの接続

☞ 5 ページ を参考に、電源とマウスを接続します。

※電源を接続すると録画機が起動します。



7 使用方法(基本)

出荷時初期設定 システム言語=日本語 時刻=日本時間 解像度=1080P パスワード=123456
カメラリピーター=オートリピーター
カメラは同梱台数分設定済みです。(追加作業の必要はありません。) ハードディスクはフォーマット済みです。

7-1.録画機のインターネット接続

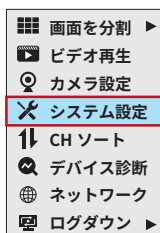
録画機をインターネットに接続すると、スマートフォンアプリを使用して外出先でもカメラの画像を確認することができます。

また、日付時刻の自動同期を行うこともできます。

20ページ

インターネット接続を行わなくてもシステムの利用は可能です。

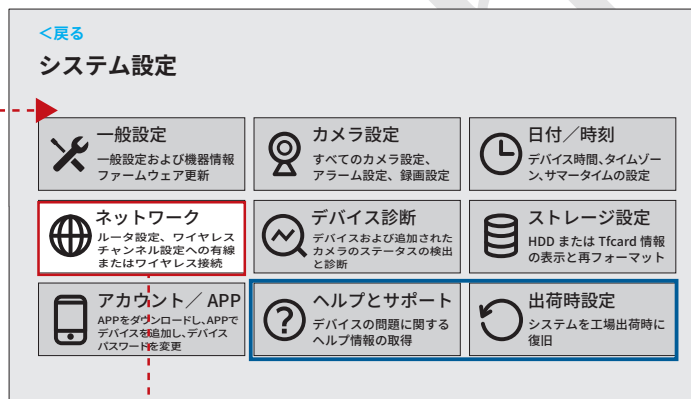
①画面上で右クリックし、表示されるメニューから「システム設定」にカーソルを合わせ、クリックします。



②ログイン確認が表示されます。「ログイン」をクリックしてください。

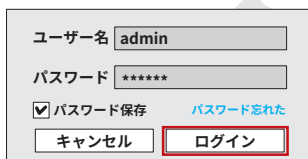
※ログイン確認はシステムログイン後、一定時間表示されなくなります。一定時間経過すると、操作時に再度表示され、ログインが必要になります。

③「システム設定」画面が表示されます。



「ネットワーク」をクリックします。

ユーザー名「admin」
パスワード「123456」
は出荷時設定済みです。変更しないでください。



ログイン画面が表示された場合は「ログイン」をクリック

出荷時設定/ヘルプとサポートは操作しないでください。

④「ネットワーク設定」画面が表示されます。設定操作はWi-Fiと有線LANで手順が異なります。



【Wi-Fi接続する場合】

「ワイヤレスインターネット」タブをクリックします。

スイッチをクリックしてON(青色表示)にします。

「Wi-Fiネットワークを選択」をクリックします。

右の画面になりしばらくすると周辺のWi-Fiルーターの名前が表示されますので、お使いのルーターをクリックして選択し、「Wi-Fiパスワード」(ルーターのパスワード)を入力します。

「保存する」をクリックします。



接続が成功するとIPアドレスなどが表示されます。
 接続に失敗した場合はパスワードを確認してください。
 (「Wi-Fiネットワークを選択」をクリックして再設定を行ってください。)

<戻る

ネットワーク設定

有線インターネット ワイヤレスインターネット カメラ無線ネットワーク カメラリピーター ネットワークサービス

有効

TP-LINK_000

Wi-Fiネットワークを選択

IPアドレス
 192.168.1.134

プライマリDNS
 192.168.1.1

セカンダリDNS
 0.0.0.0

Wi-Fi信号
 強い

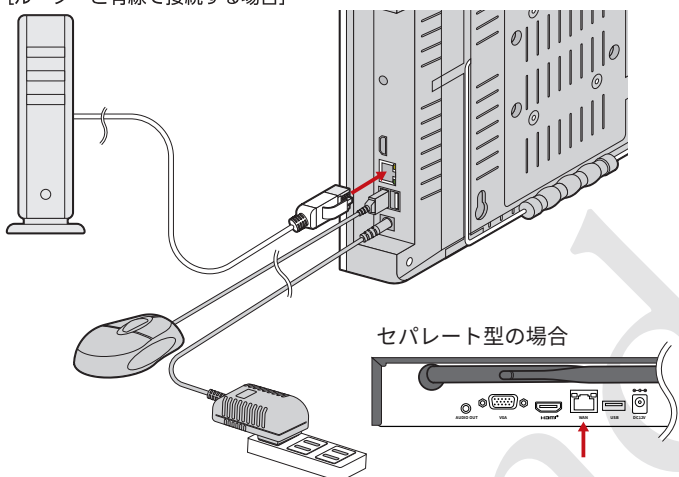
Wi-Fi状態
 通信状態:ネットワーク状態良好

【有線LANで接続する場合】

下図のように接続します。

接続に成功すると「ネットワーク設定」画面の「有線インターネット」タブで、IPアドレスなどが表示されます。

【ルーターと有線で接続する場合】



<戻る

ネットワーク設定

有線インターネット ワイヤレスインターネット カメラ無線ネットワーク カメラリピーター ネットワークサービス

ネットワークタイプ
 DHCP

IPアドレス
 192.168.3.38

ゲートウェイ
 192.168.3.1

マスク
 255.255.255.0

プライマリDNS
 192.168.3.1

セカンダリDNS
 8.8.8.8

通信状態:ネットワーク状態良好

⑤設定を終了するには左上の「<戻る」をクリックします。
 システム設定画面で「<戻る」をクリックするとカメラのライブ映像の画面が表示されます。

7-2.日付／時刻の設定、言語の設定

出荷時にシステム言語(日本語)は設定済みです。英語など、他言語に変更する場合は「システム設定」画面の「一般設定」から行うことができます。

※言語以外の項目は設定変更不要です。

日付／時刻を確認し、現在の日時と異なる場合は「システム設定」画面の「日付／時刻」から設定を行ってください。

インターネット接続がある場合、「時間の自動設定」のスイッチをON(青色表示)にしてください。タイムサーバーと録画機の日付／時刻と同期します。

<戻る

システム設定

一般設定 一般設定および機器情報 ファームウェア更新	カメラ設定 すべてのカメラ設定、 アラーム設定、録画設定	日付／時刻 デバイス時間、タイムゾーン、サマータイムの設定
ネットワーク ルーター設定、ワイヤレス チャネル設定への有線 またはワイヤレス接続	デバイス診断 デバイスおよび追加された カメラのステータスの検出 と診断	ストレージ設定 HDDまたはTfcard 情報の 表示と再フォーマット
アカウント／APP APPをダウンロードし、APPで デバイスを追加し、デバイス パスワードを変更	ヘルプとサポート デバイスに関する ヘルプ情報の取得	出荷時設定 システムを工場出荷時に 復旧

<戻る

一般設定

言語
日本語

解像度
 1080P

音声出力方式
 HDMI+Speaker

音量

一般

モデル
 K8210-W6

デバイス名
 W-NVR

ハードウェア識別コード
 0x62000000

バージョン番号 [ファームウェアのアップグレード](#)

3.6.10.2M

設定期日
 2024/9/4 09:23:43

デバイス番号
 NGD0000000000

<戻る

日付／時刻

日付形式
 年/月/日

時間の自動設定

日付
 2025/03/14

時間
 18:30:00

タイムゾーン
 (GMT+9:00) 東京、ソウル

サマータイム

サマータイム設定

7-3.カメラの画像を見る

カメラのライブ画像は、初期状態で4分割で表示されています。

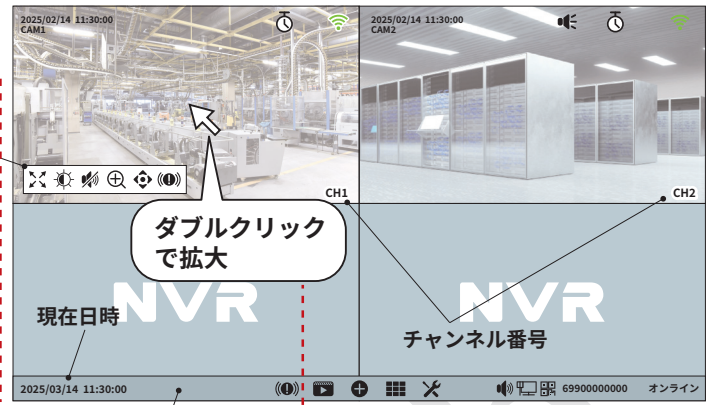
各チャンネルの表示エリア内でダブルクリックすると、そのチャンネルの画像が全画面表示されます。

全画面表示の時にダブルクリックすると分割表示に戻ります。

操作メニュー

- 全画面表示切替
- 画像設定※
- カメラからの音のON/OFF
※外部モニタ接続時のみ
- ズーム表示(デジタルズーム)
- ※使用しません
- ※使用しません

※各チャンネル画面にマウスオーバーで表示



アンダーバーはマウス操作時のみ表示

カメラからの電波強度

※使用しません

※操作メニューの「画像設定」について

暗視モード:夜間や暗い室内などを映すときでのカメラ画像の設定変更を行うことができます。通常は赤外線ライトによりモノクロ画像となりますが、カラー画像で撮影することもできます。実際の画像を確認しながら設定を行ってください。

フリッカレス:照明などにより画面にちらつきが出る場合は設定を変更してください。

プライバシー領域:画像内で撮影したくないエリアを設定することができます。

※画像設定の画面は右クリックで終了することができます。

画面を分割 ▶	1画面	CH1	CH9
ビデオ再生	4画面	CH2	CH10
カメラ設定	6画面	CH3	
システム設定	8画面	CH4	
CH ソート	9画面	CH5	
デバイス診断	10画面	CH6	
ネットワーク	カスタム画面	CH7	
ログダウン ▶		CH8	

分割表示の時に右クリックで表示されるメニューから「画面を分割」を選択すると、画面の分割方法や表示したいカメラを選択することができます。



アンダーバー操作メニュー

- システム設定メニューを表示
- 画面分割を変更
- カメラを追加 (23ページ)
- 録画再生
- ※使用しません

カメラからの音のボリューム
※スピーカー機能のある外部モニタ接続時のみ

録画機のインターネット接続状態

7-4.録画された画像を見る

初期設定では、録画機が起動中は24時間録画を行う設定(常時録画)になっています。

カメラごとに録画をしない時間帯を設定(カスタマイズ記録)したり、画面内に変化があった時のみ録画する(イベント録画)設定にしたい場合などは、「システム設定」→「カメラ設定」の「録画モード」の項目から設定を変更してください。(18ページ)

録画データを再生するには、画面上で右クリックし、表示されるメニューから「ビデオ再生」をクリックします。(または、アンダーバーにある アイコンをクリックします。)ログイン画面が表示された場合は「ログイン」をクリックしてください。

複数のカメラを運用している場合、画面が分割表示されます。各カメラの画像をダブルクリックすると拡大表示されます。



ユーザー名 admin

パスワード *****

パスワード保存 [パスワードを忘れた](#)

キャンセル ログイン

次ページへ

再生モードは、**ビデオ再生**(タイムライン再生=常時録画とイベント録画のデータが再生されます)と**スマート再生**(人形検知のあった録画データが再生されます)の2種類があり、画面右上のリンクをクリックすると切り替えることができます。

●「ビデオ再生」画面

録画内容を再生したい日をカレンダーで選択します。日付の下に青い丸がある日は録画データがあります。「今日」の日付の数字は青色で表示されます。

タイムラインに沿って、常時録画またはイベント録画された内容を再生します

再生中データの録画日時

再生操作ボタン

表示したい録画データの種別にチェックを入れます。
 ※イベント録画のデータはオレンジで表示されます。
 ※常時録画のデータはグレーで表示されます。
 何も表示がない場合はその時間の録画データがありません。

タイムラインの表示幅を選択できます。1時間や30分を選択すると、細かい時間を指定できます。

スライダーをマウスでドラッグするとタイムライン内を移動して録画データを検索できます。

録画データをUSBメモリにバックアップします

●「スマート再生」画面

録画データのサムネイルが表示されます。再生中の録画データのサムネイルは青枠で表示されます。左右の「<」「>」をクリックすると時間帯を移動できます。

人形検知のあった録画データのみを再生します。
 ※「カメラ設定」→「インテリジェント検出アラーム設定」で「人形検知」をONにする必要があります。

すべての録画データ 2025/02/12 18:00:00

再生操作ボタン

録画データのサムネイル

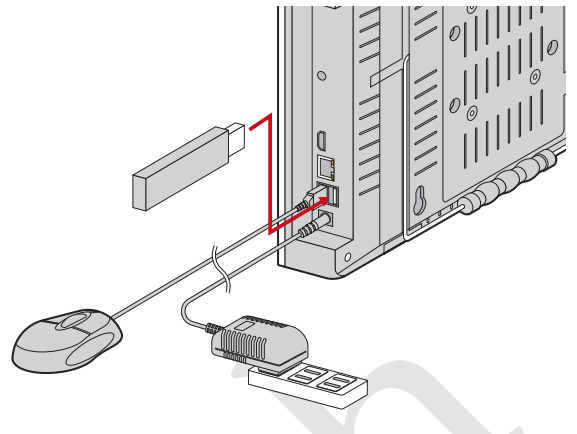
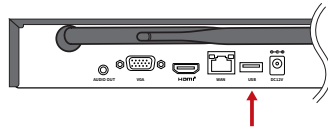
7-5.録画データをバックアップする

USBメモリに録画ファイルをコピーすることができます。十分な空き容量のあるUSBメモリを録画機にセットしてください。(右図)

※録画機にUSBメモリをセットした際、フォーマットが促される場合があります。他にデータが記録されていないUSBメモリをご用意ください。

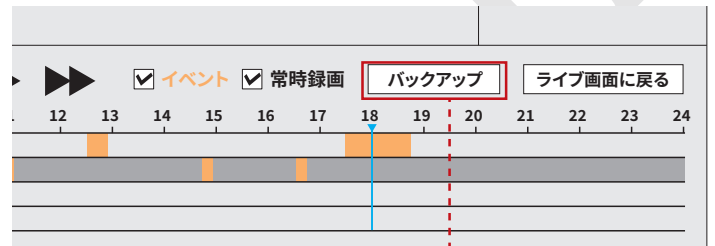
※USBにバックアップされた録画データはPCなどで再生・コピーすることができます。(MP4形式で記録されます)

※セパレート型の録画機はUSBポートが1つしかない為、USBハブなどをご利用ください。



●バックアップの手順

①録画データ再生画面の右下にある「バックアップ」ボタンをクリックします。(録画データ再生画面の表示方法は 15ページ)



②「バックアップ」画面が表示されます。バックアップしたい録画データの条件を指定します。

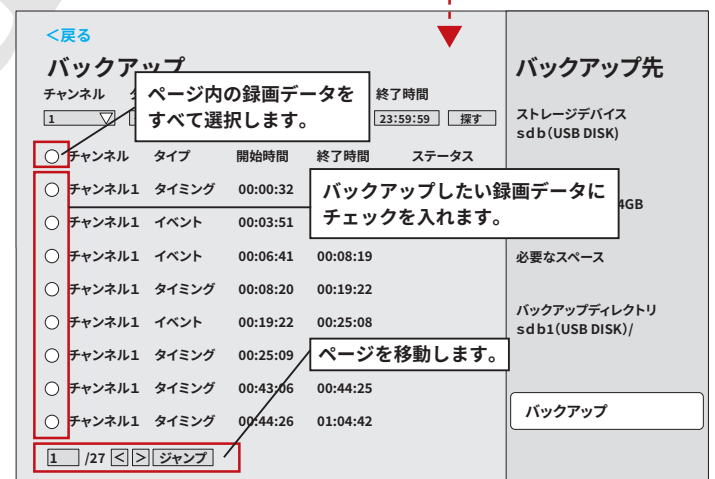
チャンネル(カメラ)、タイプ(タイミング=常時録画とスケジュール録画データ/イベント=動態検知があった録画データ)、日付、時間の範囲を指定し、「探す」をクリックします。



③条件に合致する録画データが一覧表示されます。バックアップしたいデータの左にある「○」をクリックしてチェックを入れます。

1ページには最大8件のデータが表示されます。9件目以降のデータを表示したい場合は、画面下部にあるページ数表示のボタンを操作してください。

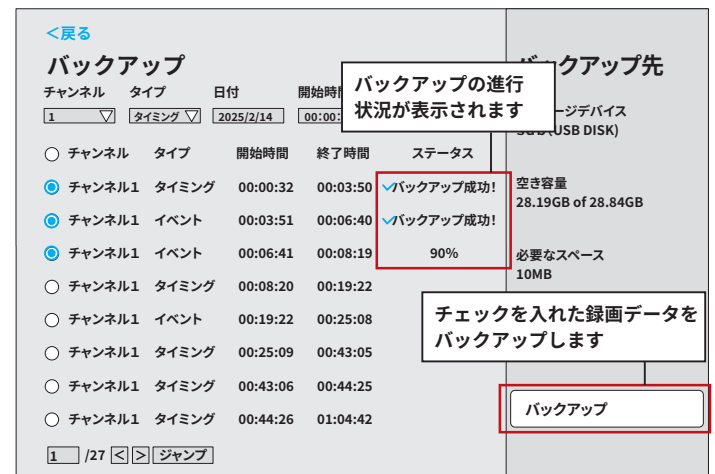
各ページの一番上の行の「○」をクリックすると、そのページすべての録画データがチェックされます。



④「バックアップ」ボタンをクリックします。

各録画データのステータス欄にバックアップの進行状況が表示されます。すべての録画データで「バックアップ成功」と表示されたら完了です。

USBメモリにアクセスがないことを確認し、USBメモリを抜いてください。



7-6.録画モード(録画スケジュール)の設定

カメラごとに録画を行うスケジュールを設定することができます。

工場出荷時は24時間常時録画を行う設定になっていますが、夜間や休日など、録画が不要な時間帯は録画を行わないようにしたり、動くものを検知したときのみ録画を行うよう設定することもできます。

録画スケジュールは「カメラ設定」画面で行います。

●録画スケジュール設定

①画面上で右クリックし、表示されるメニューから「カメラ設定」をクリックします。(または、「システム設定」画面で「カメラ設定」をクリックします。)

ログイン画面が表示された場合は「ログイン」をクリックしてください。

②「カメラ設定」画面が表示されます。接続されているカメラ(チャンネル)の一覧が表示されます。

設定したいカメラを選択し、画面右側の「録画モード」下の青文字(常時録画、イベント録画など)をクリックします。

③選択したカメラ(チャンネル)の「録画モード」画面が表示されます。

録画モードは以下の3種類から選択できます。

常時録画…24時間、毎日録画を続けます。

イベント録画…動くものを検知(動態検知)したときのみ録画を行います。
(「インテリジェント検出」をONにする必要があります)

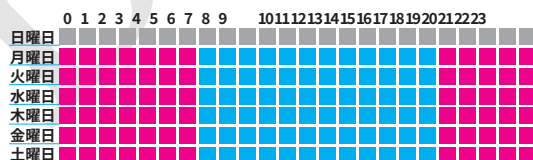
カスタマイズ記録…録画する曜日と時間を設定します。
曜日と日時を設定するには、「録画スケジュール設定」をクリックします。

設定を変更した場合は、最後に「保存する」をクリックしてください。

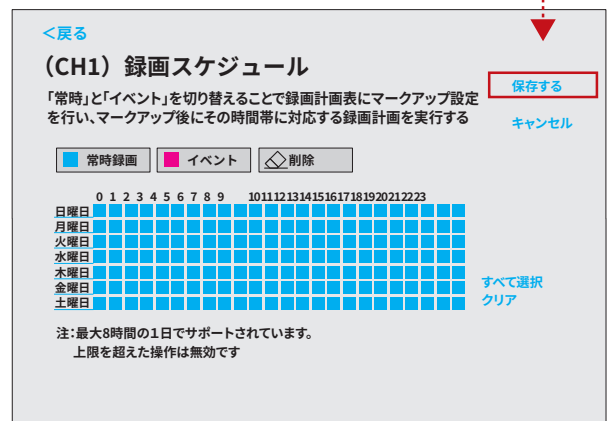
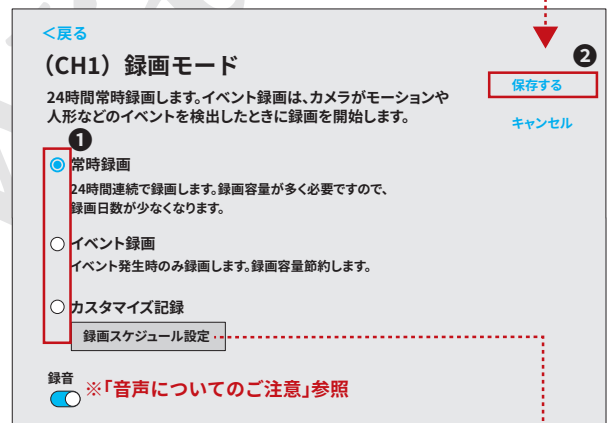
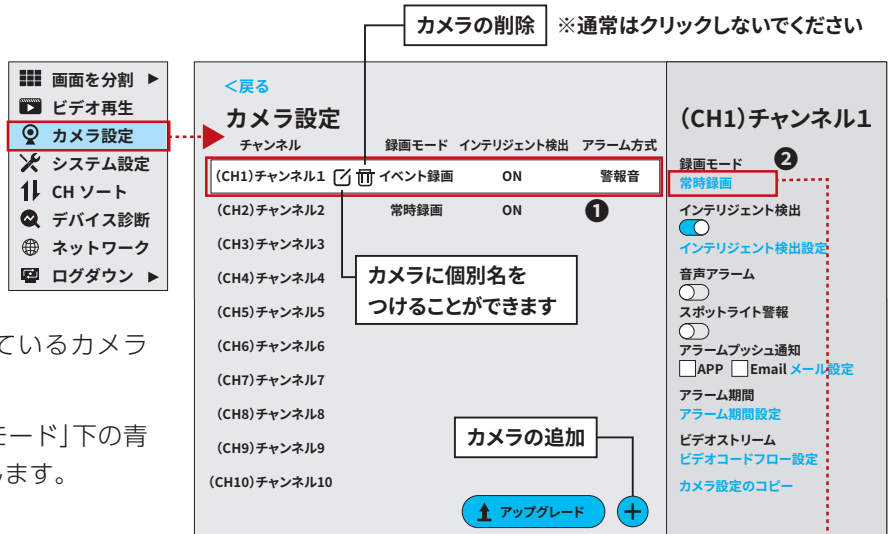
●録画スケジュール設定

「常時録画」「イベント」「削除」のいずれかのボタンをクリックし、その後各マスを個別にクリック、または範囲をドラッグすると色を変えることができます。

下記の例では、日曜日は録画せず、平日と土曜日の7:00~18:59までは常時録画、それ以外はイベント録画(動きがあったときのみ録画)の設定になっています。



設定を変更した場合は、最後に「保存する」をクリックしてください。



※音声についてのご注意

本製品の録画機からは音声は再生されませんが、録画データには音声も記録されます。(「録音」がONの場合) バックアップした動画をPCで再生する際は音声も再生されます。また、スピーカー機能のある外部モニターを接続した場合はライブ画像でも音声も再生されます。

●インテリジェント検出設定

動態検知、人形検知のON/OFF、感度や映像内での検知エリアの設定を行います。

録画モードを「イベント録画」に設定した場合、「インテリジェント検出」は必ずONにしてください。

「常時録画」や「カスタマイズ記録」の場合でも、「インテリジェント検出」をONにすると、録画データ再生画面でイベントが発生した日時を確認することができます。(個別に録画データが保存されます。)

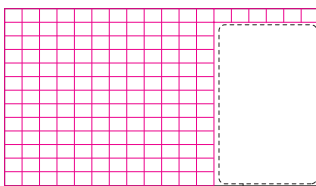
- ①設定したいカメラを選択し、画面右側の「インテリジェント検出」のスイッチをON(青色表示)にします。
- ②「インテリジェント検出設定」をクリックします。
- ③設定画面が表示されます。各項目の設定を行ってください。

イベント検出領域

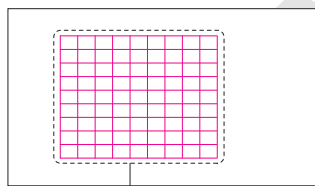
カメラの映像内で動態検知や人形検知を行うエリアを設定することができます。

「イベント検出領域」のボタンをONにします。

赤線の各マスをクリック、または範囲をドラッグすると枠を削除、追加することができます。赤線で囲われた部分は検知を行うエリアです。



この部分の動態検出は行われません



この部分のみ動態検出が行われます

感度…動態検知、人形検知の感度を設定します。感度を「最高」にすると誤検知する場合があります。カメラを設置した現場の状況により調整してください。

人形検知…人間の形を検知します。人形検知した際の録画データは録画データ再生画面、「スマート再生」で確認できます。

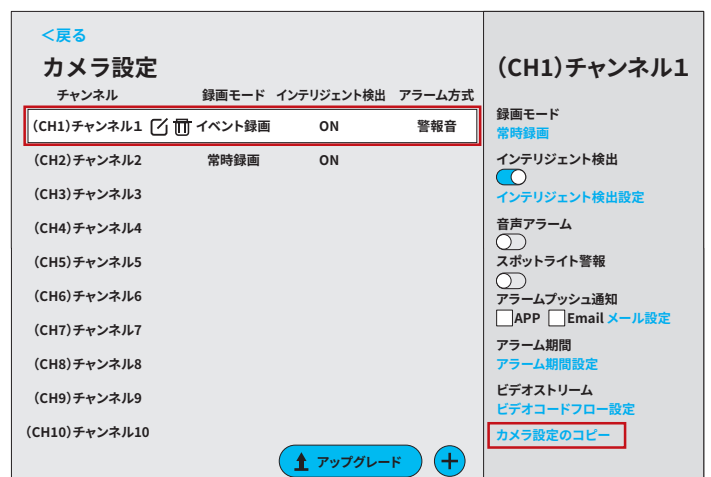
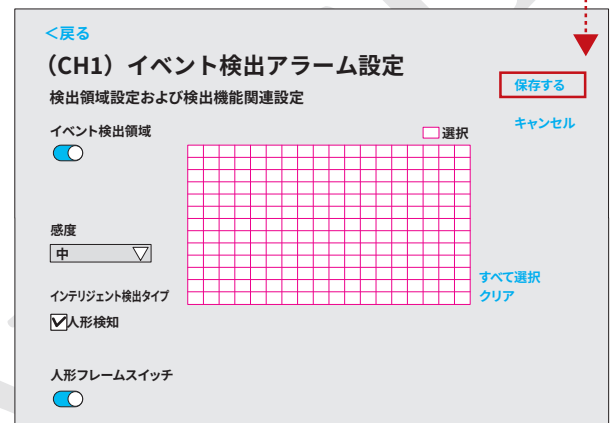
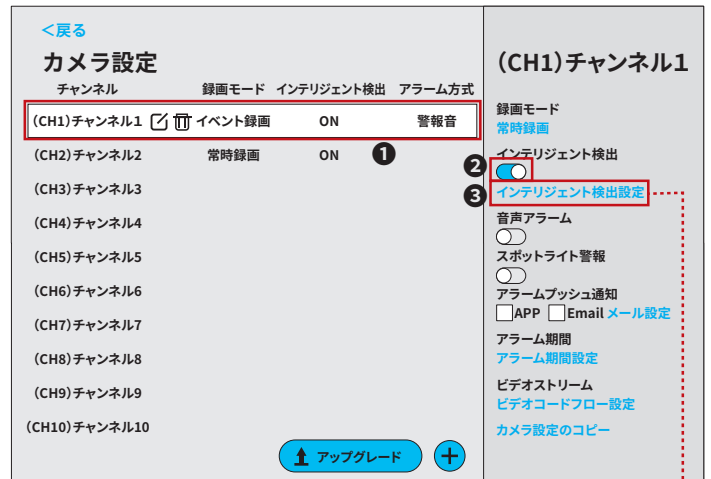
人形フレームスイッチ…人間の形を検知した場所を画面上に枠で表示します。

設定を変更した場合は、最後に「保存する」をクリックしてください。

●他のカメラへの設定コピー

録画に関する設定を他のカメラ(チャンネル)にコピーすることができます。

- ①コピー元のカメラを選択します。
- ②「カメラ設定のコピー」をクリックします。
- ③「必要なパラメータの選択」画面が表示されますので、「録画モード」にチェックがあることを確認し、「OK」をクリックします。
- ④コピー先のカメラを選択します。
- ⑤「適用」(画面右下に表示されます)をクリックします。



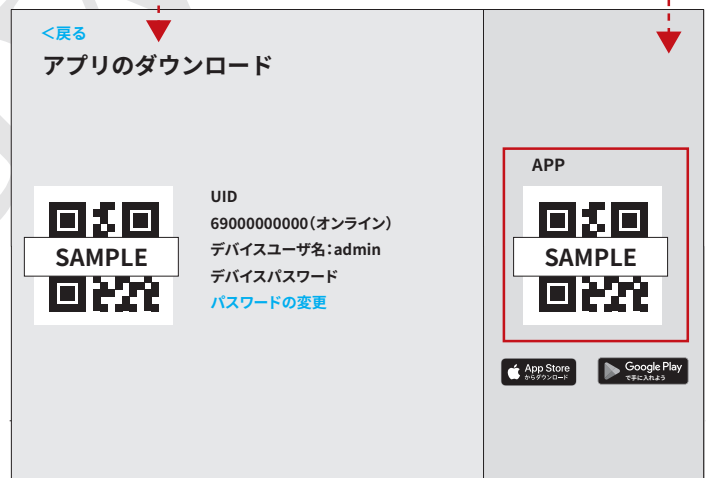
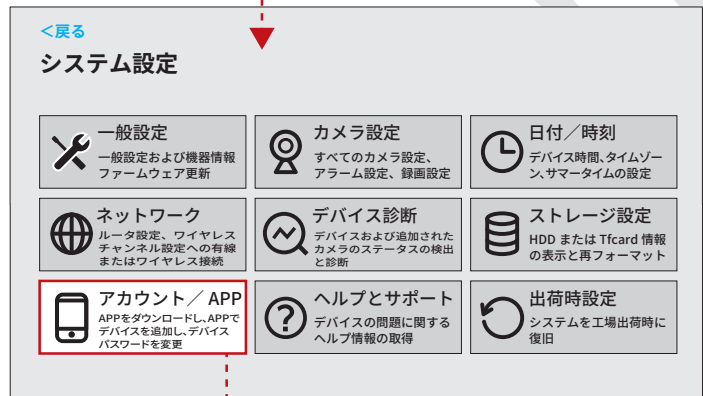
7-7.スマートフォンアプリの使い方

スマートフォンアプリを使用すると、外出先からでも防犯カメラの映像を確認したり、静止画・動画をスマートフォンで撮影することができます。スマートフォンアプリの使用には、録画機のインターネット接続 (13)、アプリをインストールできるスマートフォンが必要です。

※アプリは他社制作のものとなります。機能や仕様など、予告なく変更される場合があります。またアプリの機能に関する詳細は、アプリの開発元へご連絡ください。

●スマートフォンアプリへのリンクQRコード表示

- ①画面上で右クリックし、表示されるメニューから「システム設定」にカーソルを合わせ、クリックします。
- ②ログイン確認が表示された場合は「ログイン」をクリックしてください。
- ③システム設定メニューが表示されます。「アカウント／APP」をクリックします。
- ④「アプリのダウンロード」画面が表示されます。スマートフォンのカメラで右側 (APP) のQRコードを読み取ってください。



録画機の管理者パスワード (デバイスパスワード) の変更は行わないでください。

●スマートフォンアプリのインストール

- ①QRコードを読み取ると、お使いのスマートフォン用のダウンロードページが表示されます。

表示されるリンクをタップしてGooglePlay、またはAppStoreのアプリページに移動し、「Eseecloud」アプリのインストールを行ってください。

- ②規約の同意確認の画面が表示されますので、各規約をお読みになり、よろしければ「同意」ボタンをタップしてください。(アプリ使用のためには規約への同意が必要です)

ヒント

ご利用いただきありがとうございます。私たちは個人情報とプライバシーの保護を非常に重要視しています。お客様の個人的権利をより適切に保護するため、当社の製品を使用する前に「プライバシーポリシー」および「ユーザー契約」をよく読み、完全に理解してください。上記内容を踏まえて：

1. 当社は、お客様の個人情報およびその他の規則、ならびにお客様のユーザー権利を収集/保存/使用/提供/保護します。

2. 責任の制限および免除条項に関する合意。

「同意する」をタップすると、上記のすべての内容を読み、同意したことになります。

同意しない

同意

③このアプリをはじめてご使用になる場合はアカウントを新規登録する必要があります。

「登録する」をタップし、画面の指示に従ってメールアドレス等を入力してください。

※アカウントとパスワードを登録済みの場合はログインしてください。



④アプリが起動したら、録画機をアプリに追加します。

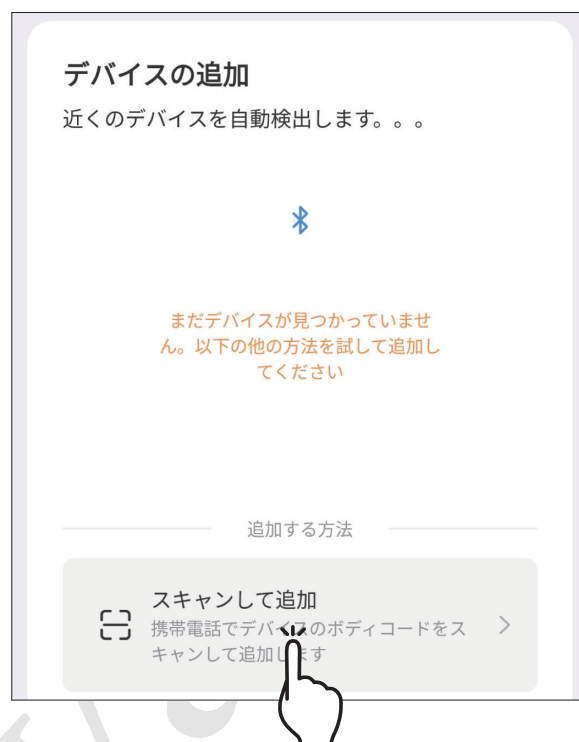
「カメラを追加」か、右上の⊕をタップします。

※すでにこのアプリを使用していてほかのカメラグループが登録済みの場合は、アプリ画面右上の⊕をタップします。

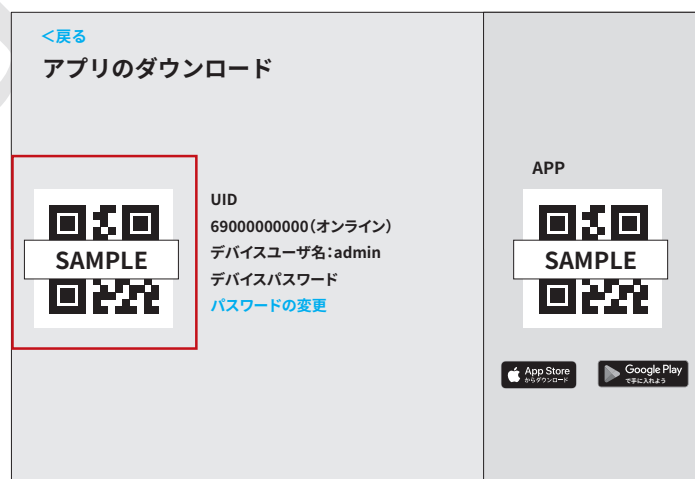


⑤Bluetoothについての指示が出る場合がありますが、今回Bluetoothは使用しませんので、次の画面へ進めてください。

下の画面が表示されたら、「スキャンして追加」をタップしてください。



⑥スマートフォンのカメラが起動しますので、録画機「アプリのダウンロード」画面に表示されている左側のQRコードを読み取ります。



⑦録画機の登録が成功したら、識別する名前をつけます。



●スマホアプリの使い方

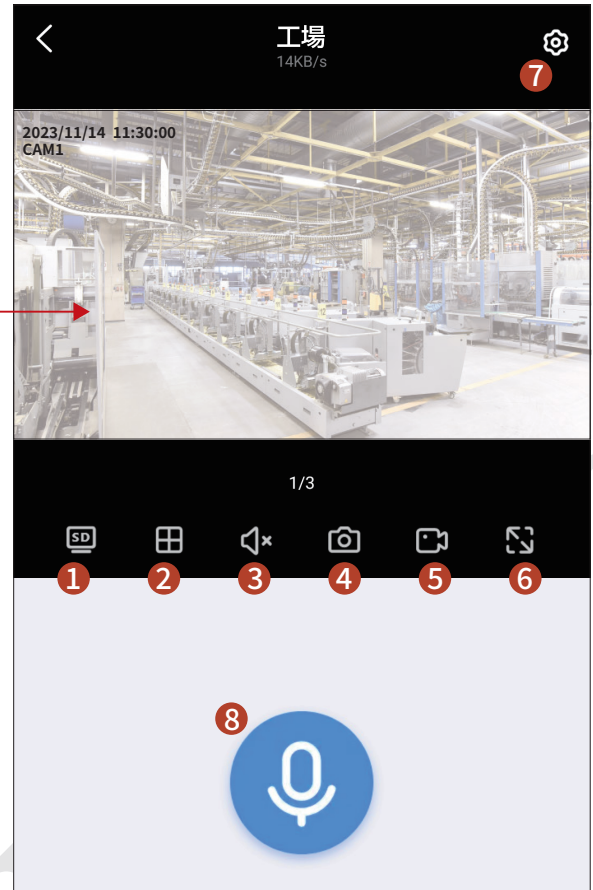
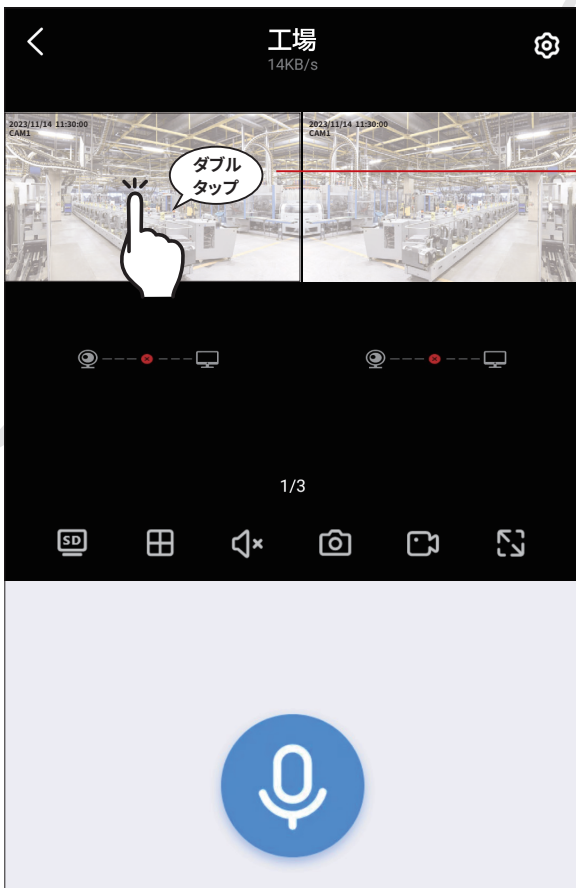
アプリを起動すると、「デバイス グループ」が表示されます。このアプリでは複数の防犯カメラシステムを管理することができます。

前ページでつけた識別名のグループをタップします。



録画機がオンラインの場合、下の画面が表示されます。

録画機の操作と同じように、拡大したいカメラ画像のエリアをダブルタップすると拡大表示できます。(全画面表示にも対応しています。)



各ボタンの機能は下記の通りです。

- ①表示画質の切替 (SD/HD)
※通信速度によって切り替えてください。
- ②画面分割表示切替
- ③ボリューム設定
- ④静止画撮影 (静止画はスマートホンに記録されます)
- ⑤動画撮影 (動画はスマートホンに記録されます)
- ⑥全画面表示 (横画面になります)
- ⑦各種設定
モーション検知や通知などの設定が行なえます。
※PTZ機能は本製品では使用できません。
※クラウドストレージなどは有料コンテンツとなります。ご注意ください。
- ⑧のカメラとの通話 ※オプションです。

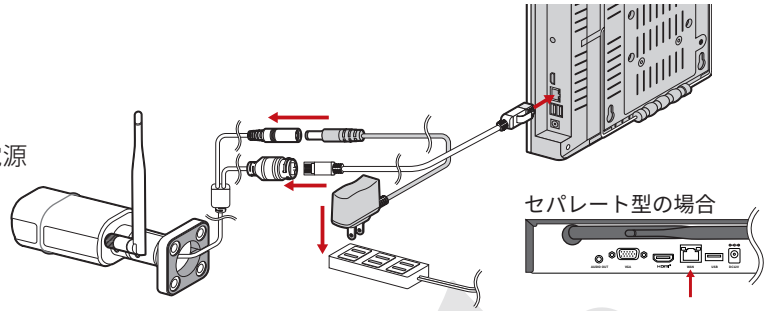
8 その他の設定

8-1.カメラの追加

録画機にカメラを後から追加したり、削除することができます。

●録画機の追加

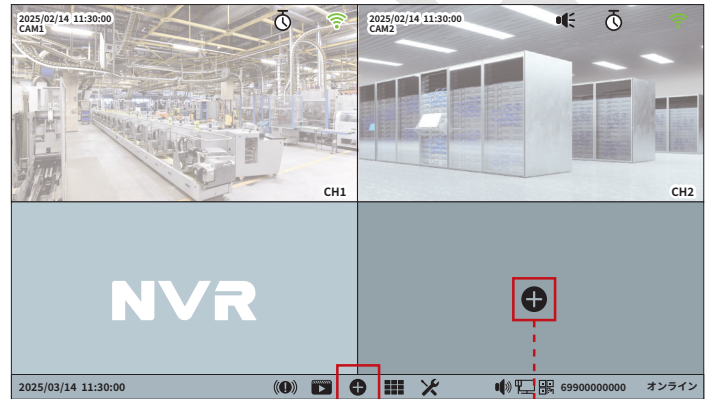
①新しいカメラと録画機をLANケーブルで接続し、カメラの電源を入れます。



②録画機画面、アンダーバーの **+** アイコンをクリックします。

+ アイコンは未登録チャンネルのエリアにマウスカーソルを合わせることで表示されます。また、「カメラ設定」画面からもカメラの追加/削除を行うことができます。

ログイン確認が表示された場合は「ログイン」をクリックしてください。



③「カメラの電源投入」画面が表示されます。

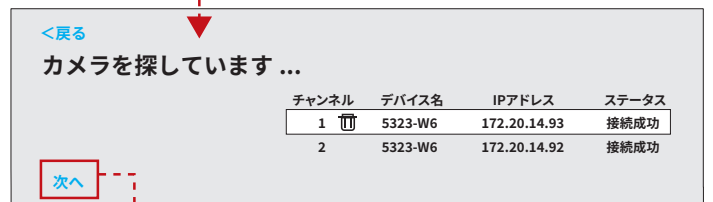
「次へ」をクリックします。

※画面に「リセットボタンを押す」と表示されますが、本製品のカメラにリセットボタンはないため無視してください。



④カメラが検索されます。

新しいカメラが追加されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



⑤画面に映像が表示されたら追加完了です。「次へ」をクリックして画面を閉じます。

カメラからLANケーブルを外してもライブ画面で映像が映っていることを確認してください。

追加するカメラが複数ある場合は、同様の操作で一台ずつ登録を行います。



※既に認識済みのカメラを削除した後、再度追加する場合は有線LANで接続する必要はありません。録画機の近くでカメラの電源を入れ、手順①からの追加作業を行ってください。

8-2.カメラリピーター設定

カメラと録画機の距離が遠い、あるいは障害物により電波が届きにくい場合、中間地点にあるカメラを中継装置として通信環境の改善を行うことができます。

※この機能は電波環境が著しく悪い場合の対処方法であり、電波状態によっては改善が見られない場合があります。確実な接続をお約束するものではありません。

※リピーター機能を最大限発揮する為には、録画機本体と、設置したカメラのちょうど中間地点にあるカメラを中継装置(リピーター)として設定します。

出荷時、「オートリピーター」の設定になっています。通信状態の悪いカメラがある場合、自動的にリピーター関係を構築します。適切なリピーター関係になっていない場合のみ、手動で設定を行ってください。

●手動リピーター設定手順

①画面上で右クリックし、表示されるメニューから「ネットワーク」をクリックします。(または、「システム設定」画面で「ネットワーク」をクリックします。)

ログイン画面が表示された場合は「ログイン」をクリックしてください。

②「ネットワーク設定」画面が表示されます。「カメラリピーター」タブをクリックし、「カスケードリレーショナルトポロジ図」をクリックします。

③リピーター関係を確認し、適切でない場合は設定を続けます。(「NVR」は録画機、「CH1」「CH2」はカメラを意味しています。)

連結モードを「手動リピーター」にします。

中継装置にしたいカメラの「+」ボタンをクリックし、中継接続するカメラのチャンネル番号を選択します。

例):CH1 を中継し、CH2 のカメラをリピーター接続する場合…CH1 の「+」をクリックし、CH2 を選択。

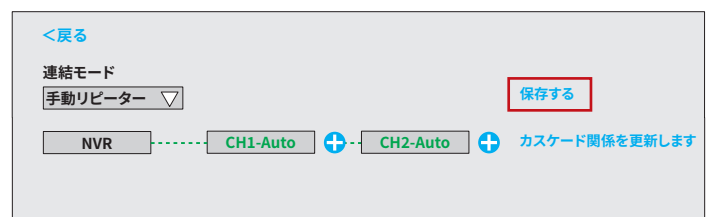
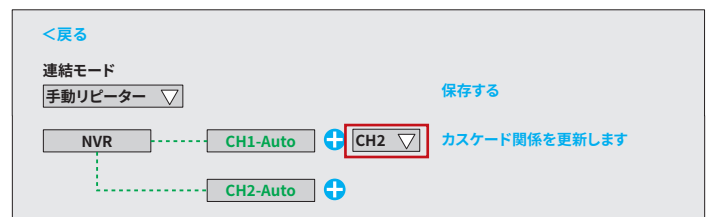
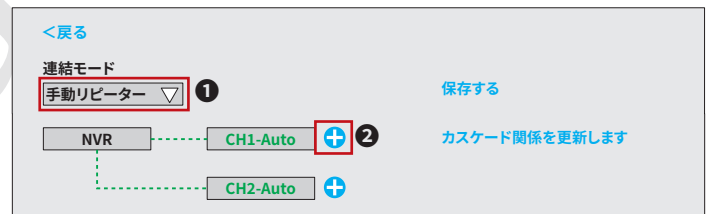
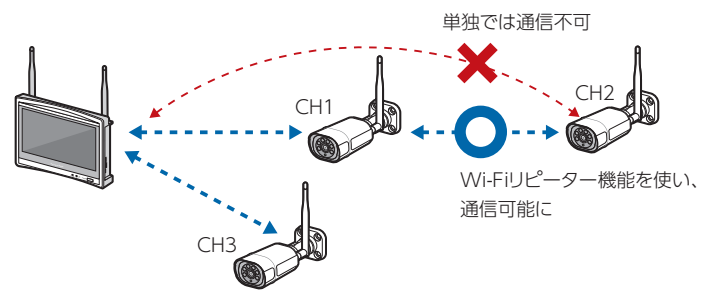
画面上では、CH1からCH2に接続された状態になります。

④「保存する」をクリックします。

※設定後、リピーター関係が反映されるまで数分程度を要します。

※リピーター状態にあるカメラを通常の状態(録画機からダイレクトに接続)に戻すには、末端に接続されているカメラ名部分をクリックします(図では「CH2」)。録画機からダイレクトに接続される設定になります。

設定変更後は必ず「保存する」をクリックしてください。



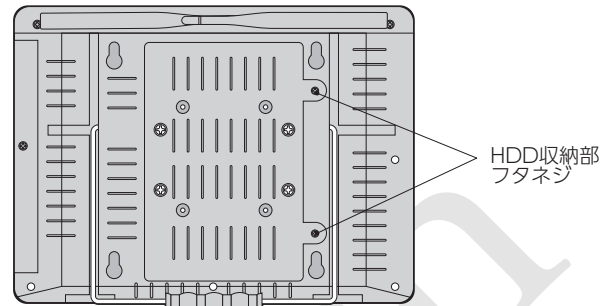
8-3.HDDの取付・フォーマット

※HDDの取付(交換)は、必ず録画機をシャットダウンし、電源を外してから行ってください。
HDDの取付(交換)は次の手順で行ってください。

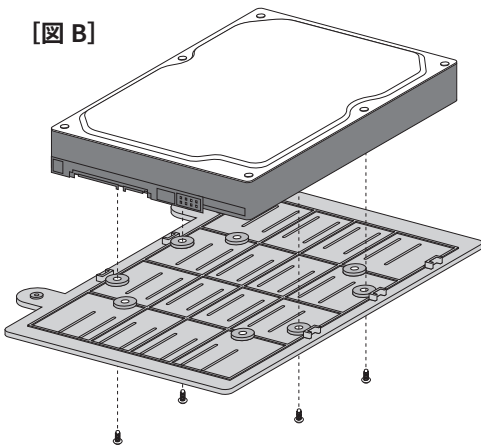
<LCD一体型の場合>

- ①録画機裏面のHDD収納部フタを外します。右図のネジ2箇所を外すと蓋が開きます。[図A]
- ②HDD収納部フタの裏面(録画機内側へ向いていた面)に、HDDを取り付けます。ネジ4箇所固定します。[図B]
- ③録画機に繋がっているケーブル2本をHDDに接続します。[図C]
- ④HDDを取り付けたフタを、録画機に取り付けます。手順①で外したネジ2本で、元と同じように固定してください。[図D]

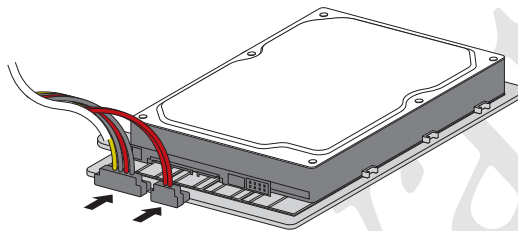
[図A]



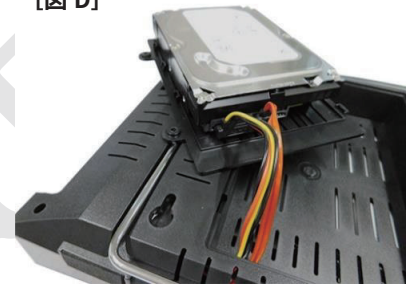
[図B]



[図C]



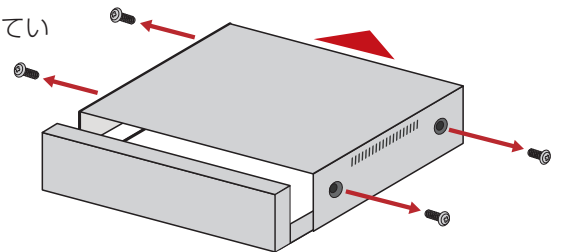
[図D]



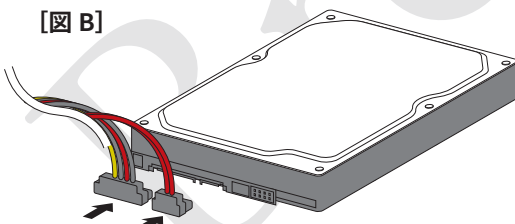
<セパレート型の場合>

- ①録画機の左右と下面のネジを外し、上フタを後ろにスライドさせて開けます。[図A]
- ②HDDにケーブル2本を接続します。[図B] ※ケーブルが基板側にも接続されていることをご確認ください。[図C]
- ③HDDを録画機にビスで固定します。[図D]
- ④録画機の上フタを戻し、ビスで固定します。

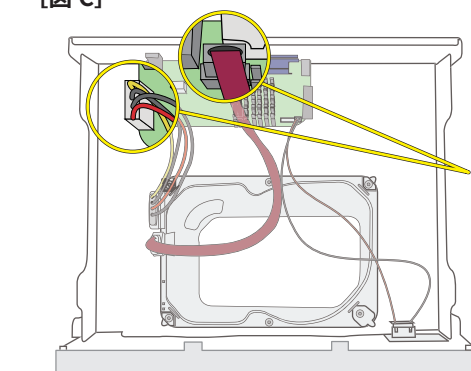
[図A]



[図B]

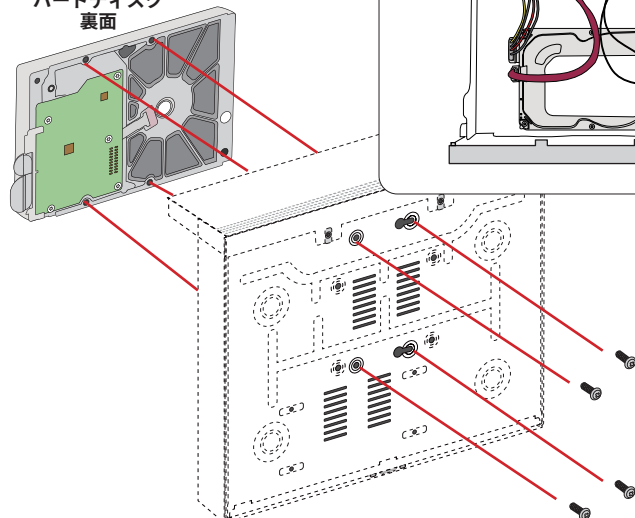


[図C]



[図D]

ハードディスク
裏面

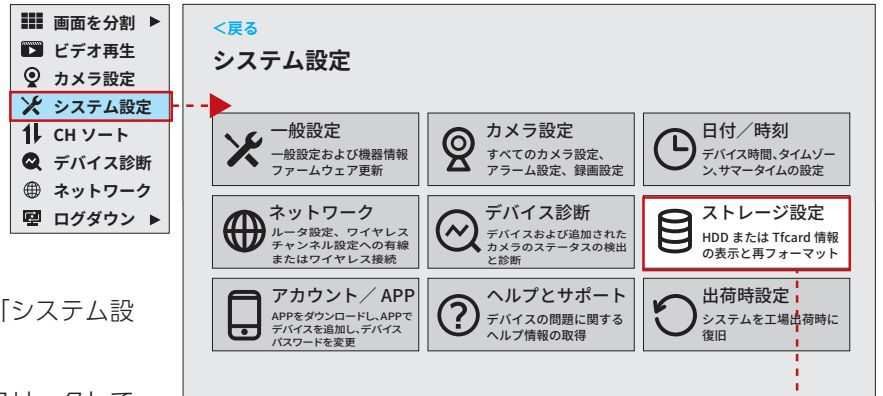


●HDDのフォーマット

新しくHDDを取り付けた時や、録画データを削除したい場合にはHDDのフォーマットを行ってください。

※録画ファイルを個別に削除することはできません。

※事前に必要な録画データのバックアップを行ってください。  17 



- ①画面上で右クリックし、表示されるメニューから「システム設定」をクリックします。

ログイン画面が表示された場合は「ログイン」をクリックしてください。

- ②「システム設定」画面が表示されます。

「ストレージ設定」をクリックします。

- ③「ストレージ設定」画面が表示されます。

「再フォーマット」をクリックします。次に表示される画面で「次へ」をクリックします。

フォーマットが開始されます。フォーマット中は電源をOFFにしないでください。



8-4.シャットダウン・再起動

●シャットダウン

録画機の設置場所を変更するなど、ACアダプタを外す必要があるときは、必ず「シャットダウン」操作を行ってください。シャットダウン操作を行わずにACアダプタを外すと故障の原因となります。

- 画面上で右クリックし、表示されるメニューから「ログダウン」にカーソルを合わせます。
- 「電源OFF」をクリックします。
- 確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

画面に「電源を安全に切断できるようになりました」と表示が出たら、すみやかに録画機のACアダプタを外してください。

※「電源を安全に切断できるようになりました」の表示後、一定時間(1分程度)経過すると再起動が始まります。再起動が始まってしまった場合は絶対に録画機のACアダプタは外さないでください。

●再起動

カメラの追加やHDDの交換・フォーマットなどを行った後はシステムの安定動作のため、再起動をおすすめいたします。

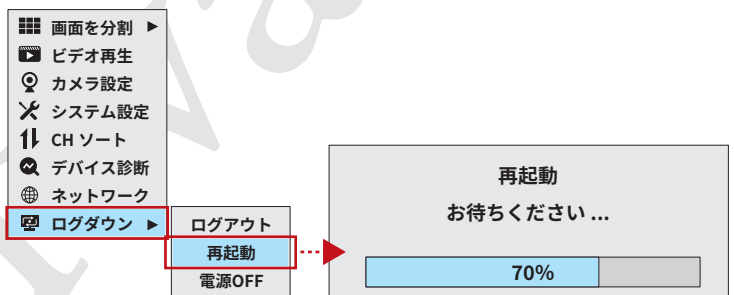
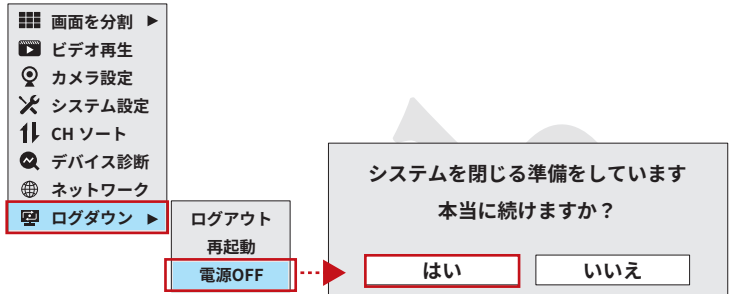
また、システムの不具合を感じた場合なども再起動を行ってください。

- 画面上で右クリックし、表示されるメニューから「ログダウン」にカーソルを合わせます。
- 「再起動」をクリックします。

※再起動中は絶対に録画機のACアダプタは外さないでください。



録画機の電源をOFFにする前に、必ずシャットダウン操作を行ってください。



8-5.システム設定項目一覧

一般設定

言語	システム言語を設定
解像度	HDMI外部モニタの解像度の設定
音声出力方式	外部モニタ接続時のスピーカーの設定
デバイス名	録画機のネットワーク上での名称設定
ファームウェアのアップグレード	録画機のファームウェア更新 ※ユーザー設定不可

日付/時刻

録画機の日付時刻のデータ設定

デバイス診断

カメラや録画機の状態を確認します。不具合発生時、メーカーより確認の依頼があった時に操作してください。

ストレージ設定

HDDの状態確認、フォーマット

アカウント/APP

スマートフォンアプリのインストール、設定
※パスワードの変更はしないでください。

ネットワーク設定

有線インターネット	有線LANでの録画機とルーターとの接続設定
ワイヤレスインターネット	Wi-Fiでの録画機とルーターとの接続設定
カメラ無線ネットワーク	カメラと録画機との接続設定 ※ユーザー設定不可
カメラリピーター	カメラリピーター設定
ネットワークサービス	Alexaなどを使用する場合の設定

カメラ設定

録画モード	録画のタイミングを設定
インテリジェント検出設定	動態検知、人形検知のON/OFF、感度、エリアを設定
音声アラーム/スポットライト警報	イベント発生時のアラームの設定 ※本機では動作しません。
アラームプッシュ通知/アラーム期間	イベント発生時、アプリやメールへのプッシュ通知の設定
ビデオストリーム	※ユーザー設定不可
カメラ設定のコピー	録画モード設定の他カメラへのコピー



出荷時設定/ヘルプとサポートは操作しないでください。

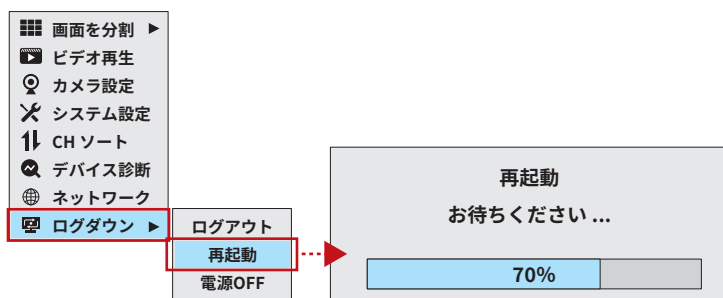
9 トラブルシューティング

本製品をご使用中、正常に動作しなくなったと感じた場合は、録画機本体の「再起動」を試してください。

【再起動の手順】

- ①マウスを右クリックして、メニューを表示し「ログダウン」をクリックします。
- ②「再起動」をクリックします。

※再起動でも問題が改善されない場合は、HDD(ハードディスク)のフォーマット(初期化)を試してください。(26ページ)
この場合、録画データは全て消去されます。



症 状	考えられる原因と対策
●カメラを認識しない／画面に何も表示されない	○カメラと録画機の電源が正常に接続されているか、ACアダプタが確実に差し込まれているかご確認ください。
	○カメラの電源が入っているかご確認ください。(5ページ参照)
	○何らかの理由で録画機とカメラとの接続情報が失われてしまった可能性があります。カメラの追加を試してください。(23ページ)
●カメラからの受信電波が弱い／電波干渉がある	○映像が映らない(受信映像に乱れなどがある)カメラと同じ場所で、他の正常なカメラの電源を入れてください。他のカメラの映像が正しく受信される場合、カメラに機械的な不具合が起こっている可能性があります。弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
	○距離が遠い、障害物がある、何らかの電波干渉があるなどで、十分な電波強度が無い状態と思われる場合、下記の対策を行ってください。 ①「リピーターモード」で接続する。(24ページ) ②設置場所(アンテナの指向性)を変更する。 ③有線LAN接続で使用する。(8ページ)
	○カメラと録画機の間や周辺に、使用中の電子レンジや電波に干渉を及ぼす機器がある場合、設置場所を変更してください。
	○HDDが正しく取り付けられているか、フォーマットされているかご確認ください。(25ページ)
●録画できない	○録画モード設定で曜日、時間の設定が正しくされているかご確認ください。(18ページ)
●録画ファイルのバックアップができない	○USBメモリが録画機に正しくセットされているかご確認ください。
	○USBメモリに空き容量が十分にあるかご確認ください。(17ページ)
	○USBメモリのフォーマットがFAT32か、PCでご確認ください。
●管理者パスワードを忘れてしまった	○ユーザー名「admin」パスワード「123456」で出荷時設定を行っています。変更しないでください。万一、ユーザー名とパスワードを変更してしまった場合や初期パスワードでログインできなくなった場合は弊社サポートセンターまでご連絡ください。
●カメラを増設したい	○録画機の最大チャンネル数までは、増設が可能です。(23ページ)

その他ご不明な点がございましたら、弊社、サポートセンターまで、お気軽にお問合せください。

サポートセンター

製品についてのお問い合わせは右のQRコードよりお願いいたします。
※正確な状況を把握するために、「お問い合わせフォーム」からのお問い合わせを
お願いいたします。



企業情報



株式会社ブロードウォッチ
堺センター
〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町西3丁1-7

ホームページ: <https://www.broadwatch.jp>
メー ル: support@broadwatch.jp
電 話: 050-3786-0010

10 製品仕様

録画機

録画機タイプ	一体型(12インチ)	一体型(10インチ)	セパレート型
接続カメラ台数	最大 8 台		
接続カメラ信号	1080P/3MP/5MP の選択		
LCD	12.5 インチ 1920×1080pixel	10 インチ 1920×1080pixel	(下記モニター参照)
HDMI 出力	1080P	出力不可	1080P
ビデオ録画、再生	マニュアル、時間、動感、アラーム		
バックアップ	USB 外部記憶装置		
ハードディスク	3.5 インチ 最大 8TB	2.5 インチ 最大 2TB	3.5 インチ 最大 8TB
ネットワーク	有線 (10M/100M)、Wi-Fi(2.4GHz 802.11b/g/n)		
USBインターフェース	2 ポート USB 2.0	1 ポート USB 2.0	1 ポート USB 2.0
大きさ	約 1kg、約 300×230×53mm	約 780g、約 265×170×53mm	約 650g、約 260×225×40mm
電源	DC12V/2A	DC12V/2A	DC12V/2A
動作環境	温度 (0 ~ 50℃)、湿度 (10 ~ 90%)※但し、結露なきこと		

カメラ

画素数	2304×1296(3M)、2560×1920(5M)
信号方式	H.264/H265
センサー	1/3 CMOS(3MP) 1/2.8 CMOS(5MP)
最低照度	0.1Lux(カラー)、0.01Lux(白黒)
S/N 比	>39.1dB
レンズ	3.6mm
ネットワーク	有線 (10M/100M)、 WIFI(2.4GHz 802.11b/g/n)
フィルター	自動 IR カット
音声	マイク内蔵、 双方向通話用スピーカー (オプション)
大きさ	約 300g(スタンド含む)、 約 100×φ64mm(本体のみ)
電源	DC12V/1A
動作環境	温度 (-10 ~ 50℃)、 湿度 (10 ~ 90%) ※但し、結露なきこと

技適取得済み

モニター

LCD	15.6 インチ 1920×1080pixel
表示色	1,677 万色
視野角	水平 / 垂直 160°
映像入力端子	HDMI/VGA (インターレース方式は非対応)
音声入力端子	なし
電源	DC12V/1A(AC アダプター使用)
大きさ	約 1.0kg、 約 375×300×180mm(スタンド含む)
動作環境	温度 (0 ~ 50℃)、 湿度 (10 ~ 80%) ※但し、結露なきこと

MADE IN CHINA

SEC-WREC (2025.06)

製品保証書

WIFI防犯カメラセット

SEC-Wシリーズ

保証期間 お買上げ日より1年間

お買上げ日

販売店名

※お買上げ時のレシートも一緒に保管してください。

保証期間内に正常な使用で故障が発生した場合、保証規定に基づき、製品の保証を行います。

※保証規定はブロードウォッチのホームページをご確認ください。

ご購入日が記載された書類(レシート、領収書、納品書、保証書、メール等)のいずれかを必ず保管してください。

製品保証を受ける際に必要になります。



株式会社ブロードウォッチ

堺センター
〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町西3丁1-7

アクセサリのご案内

各種カメラスタンド



型番
SEC-STAND

型番
SEC-BAR-S
SEC-BAR-M



VESA壁掛けモニタースタンド

VESAマウント75×75～100×100mに対応。



型番
LCD-WALL-STAND

ポールマウントブラケット

穴開け不要で、支柱などに防犯カメラを設置できます。柱用と角度調節ができる360°スタンド付きの2種類。



型番	タイプ
SEC-PLMT-BK	柱用
SEC-PLMT-BKP	360度スタンド付き

【防水】LANケーブル中継コネクタ

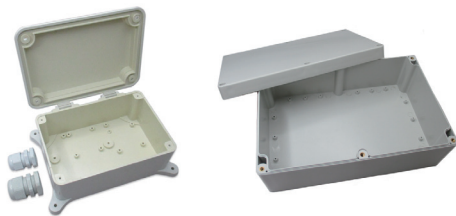
屋外用のRJ45中継コネクタです。



型番
RJ45-CONNECT

中継ボックス

屋外防犯カメラの配線に便利なABS製のボックスです。



型番	サイズ
SEC-TMBOX-M	165×155×60mm
SEC-TMBOX-S	165×108×77mm

拡張WiFiアンテナ(2.4GHz用)

1m延長線により電波の死角になる状況を解消できます。軽量で粘着テープにより簡単に貼り付けて設置。(防水仕様)



型番
ANT-24G-11

POEハブ

複数台のカメラと録画機を有線LAN接続することができます。



型番	アップリンク	POEポート	供給電力	サイズ	重量
HUB-POE-4CH	2	4	72W	205×145×40mm	610g
HUB-POE-8CH	2	8	120W		690g

Cat5e LANケーブル(屋外用)

屋外での使用が可能な、耐候性に優れた2重構造のLANケーブルです。



型番	長さ
LAN-CBL-10W	10m
LAN-CBL-20W	20m
LAN-CBL-30W	30m
LAN-CBL-50W	50m